X-One（クロスワン）

取扱説明書

はじめに / 製品の特長

この度は「X-One（クロスワン）」をお買い求め上げいただき誠にありがとうございます。本製品は手軽に音楽を楽しめるデジタルオーディオプレイヤーで、次のような特長を持っています。

シンプル&イージー・オペレーション

4GB 大容量 HDD 搭載ポータブルプレイヤー

USB マスストレージクラス対応（P.69）

メモリーカード対応 / ダンプコピー機能（P.66）

MP3/WMA（DRM 対応）ファイル再生可能（P.42）

ステレオスピーカー内蔵（P.76）

ファームウェアアップデート機能（P.84）

プリセット&ユーザーEQ 機能（P.54、56）

USB2.0 対応（P.30）

ボイスレコーダー機能（P.40）

ダイレクトレコーディング機能（P.40）

録音可能 FM ラジオ搭載（P.46）

必ずお読みください

著作権についてのご注意

他者の著作物または歌唱・演奏の録音物を、私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。また、実際に配信が行われているか否かにかかわらず、私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作権物または歌唱・演奏の複製物を、著作権者およびその他の権利者の許諾を得ずに、電気通信等の手段で配信が可能な状態にすることは、禁止されています。当社は本製品が上記の注意事項を守られず使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

商標について

X-One（クロスワン）の名称は、シーグランド株式会社の商標です。Microsoft、Windows、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

パソコンでの操作について

本取扱説明書では、パソコンの操作方法についても一部紹介をしておりますが、パソコン本体、OS、その他アプリケーションの操作については、ご利用されている製品の取扱説明書をご覧ください。不明点は、これらの製造元にお問い合わせください。

- お客様または第三者が、本製品またはパソコンや各アプリケーションの誤使用、使用中に生じた故障、メモリーの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あしからずご了承ください。
- 本取扱説明書の一部または全部をシーグランド株式会社の許可なく複製することはできません。
- 本取扱説明書に記載されている内容を、製品の機能の改善・改良を目的とし、将来予告なしに変更する可能性があります。
- 本取扱説明書は万全の注意を払って制作していますが、取扱説明書を参考にした操作において損害が生じても責任は負いません。
- 本取扱説明書は開発中の製品を元に制作されており、実際の製品とは一部外観が異なるものがあります。
- 画面ショットは、Windows XPおよびWindows Media Playerバージョン9を使用しています。お使いのパソコン環境によっては細部が異なることがあります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるように、本取扱説明書を大切に保管してください。

警告表示の意味

本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容が記載されていることを示します。

この記号は、行為を禁止する内容が記載されていることを示します。

この記号は、行為を強制したり指示する内容が記載されていることを示します。

下記の注意事項を守らないと大けがの原因となります。

運転中は使用しない

運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
また歩きながら使用する際も、事故を防ぐために、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

煙が出たり、変なにおいがするときは、ただちに使用を注意する

万一、異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、お買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご相談ください。そのまま使用すると感電したり火災の原因となります。

正しく接続する

本製品をパソコンに取り付ける場合は、必ず本取扱説明書で接続方法を確認し、正しく接続してください。誤った接続をすると、パソコンや本製品から発煙したり火災の原因となります。

分解・改造しない

感電、火災、火傷などの事故の原因となります。修理はお買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご依頼ください。改造した場合、保証期間であっても有料修理となります。

濡らさない

本製品を調理台や加湿器のそば、風呂場などの水などの濡れやすい場所または水のかかりやすい場所に置いたりご使用にならないでください。火災や発熱、感電、破損、故障の原因となります。
万一、水に濡れた場合は、すぐに電源をオフにし、お買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご相談ください。

振り回さない

ストラップやヘッドホンコード、オーディオケーブルなどを持って本製品を振り回さないでください。周囲の人がけがをする恐れがあります。

端子部に金属類を差し込まない

ジャックなどに金属類を差し込まないでください。回路のショートや故障の原因となります。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。電源コードを加工したり、重い物を乗せたり、引っ張ったりしないでください。また、熱器具に近づけたり、過熱しないでください。万一、電源コードが傷んだ場合はすぐに使用を中止し、お買い上げ店またはシーグランド・ユーザーサポートにご相談ください。

海外で使用しない

交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

付属の AC アダプターやオプションのカーバッテリーコード以外を使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災や感電、けが、周囲の汚損の原因となります。

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間連続で聞きすぎない

大きな音量で長時間続けて聞くと耳を刺激しすぎてしまい、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞く場合には注意し、周囲の音が聞こえるくらいの音量でお聞きください。

はじめからボリュームを上げすぎない

再生時にボリュームが上がりすぎていると、突然大きな音が鳴って耳をいためることがあります。ボリュームは再生しながら徐々に上げていきましょう。

コード類は正しく配置する

本体と他の機器をケーブルを使って接続をする際に、コードを正しく配置しないと足になどにひっかけて機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して、接続・配置してください。

ぐらついた台や傾いた場所に置かない

落下し、故障の原因となります。

幼児の手の届くところにおかない

けがなどの事故の原因となることがあります。

ぬれた手で AC アダプターを触らない

感電の原因となる場合があります。

長期間使わないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のためACプラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本製品には充電式リチウムポリマー電池が内蔵されており、取り外しはできません。

⚠危険

- 専用の電池パック以外を使用しない。
- 指定された充電方法以外で充電しない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそば、ストーブのそば、炎天下などの高温の場所で充電、使用、放置しない。
- 分解・改造しない。
- 強い衝撃を与えない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは傷害を起こす恐れがあります。すぐにきれいな水でよく洗い流してください。漏液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療をうけてください。

⚠警告

- 火の中に投入したり、ハンダ付けしない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- 液漏れや異臭がしたら、使用をやめ、ただちに火気より遠ざける。

本製品は、故障・修理などによってデータが消えることがあります。万一データが消えても、当社としては内容についてまでの責任は負いかねます。重要なファイルについては、このような場合に備えて、定期的にバックアップをお取りください。

ご利用にあたってのお願い

- 本製品には HDD が搭載されています。磁石または磁気の強いものを近づけないでください。故障やデータ破壊の原因となります。
- 本製品に読み書き中はパソコンから本製品を抜かないでください。故障、データ破壊の原因となります。
- 本製品をパソコン本体に挿したままパソコンを起動した場合、本製品を認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。
- USB ハブに本製品を挿す場合、ご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体の USB ポートに直接挿し込んでください。
- 本製品はサスペンド / スタンバイ / スリープなどのモードに対応しておりません。
- USB ポートに挿しても、まれに認識しない場合があります。その場合は、いったん抜いてから挿し直してください。
- 録り直しのきかない録音の場合、必ず事前に試し録音をしてください。
- 操作上の問題または本製品の不具合により、正常に録音されなかった場合の録音内容の保証についてはご容赦ください。
- 本体は防水仕様になっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
- 本製品をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
- 鞄などに入れる場合は、重たいものの下にならないようにご注意ください。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

付属品について

本製品には、以下のような付属品が同梱されています。お使いになる前に、まず付属品がすべて揃っていることをご確認ください。万一、付属品の不足や破損がございましたら、弊社サポートセンター（P.105）にご連絡ください。

キャリーケース

USB ケーブル
（USB2.0 対応）

インナーヘッドホン

ダイレクトレコーディングケーブル

取扱説明書（本書）

ソフトウェア CD-ROM

AC アダプター

上記のほかに、「保証書」と「ユーザー登録はがき」が同梱されています。また、カタログや注意書きの別紙が同梱されている場合があります。
※ イラストはイメージです。実際のものと異なります。

目次

はじめに / 製品の特長 2
必ずお読みください 3
安全上のご注意 4
電池についての安全上のご注意 8
ご利用にあたってのお願い 9
付属品について 10
お使いになる前に（準備） 15
各部の名称と機能 16
正面図 16
上側面 17
下側面 17
左側面 18
右側面 18
コントローラーやボタン操作についての注意 19
ディスプレイの見方（Music モード） 20
ディスプレイの見方（FM ラジオモード） 22
充電のしかた 24
USB 接続したパソコンから充電する 25
Windows Media Player 用プラグインソフトウエアのインストール 26
Windows98 用ドライバのインストールのしかた 27
パソコンとの接続のしかた 30
パソコンからの取り外しかた 32
簡単にお使いください 33
電源を入れよう 34
電源を切ろう 35
音楽 CD をパソコンに録音しよう 36
オーディオファイルを本体に転送しよう 38
MP3 録音しよう 40
再生しよう 42
曲を選ぼう（ナビゲーションモード） 44
モードについて 45
FM ラジオを聞こう 46
誤動作を防ごう（ホールド機能） 48

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

オペレーション・ガイド 49
Music モード（音楽再生時） 49
Voice/Line モード（録音時） 50
FM モード（FM ラジオ受信時） 50
いろいろな再生 / 録音の楽しみかた 51
一定区間を繰り返し再生しよう（A → B リピート再生） 52
再生方法を選択しよう（プレイモードの選択） 53
好みの音質に調整しよう（プリセット EQ） 54
オリジナルの音質を設定しよう（ユーザー EQ） 56
録音の品質を設定しよう～ビットレート 58
よく聞く FM ラジオ局をプリセット登録しよう（プリセット登録） 60
プリセット内容を削除する（プリセットの削除） 62
FM ラジオを MP3 録音しよう（FM 録音） 64
強制終了する（リセット） 65
メモリーカードを使おう（ダンプ・コピー） 66
用語集 68
メニューの使いこなしかた 71
メニューマップについて 72
メニューマップ 72
メインメニュー画面 73
サブメニュー画面 73
セッティングメニュー画面 73
メニューの操作方法 74
Setting のサブメニュー 76
Recording のサブメニュー 78
Card Copy をする 79
Display のサブメニュー 80
Timer のサブメニュー 81
User EQ を設定する 82
Erase（内蔵 HDD のファイルを削除する） 83
About（本体の情報を表示する） 84
使用上のヒントとトラブルシューティング 85
使用上のヒント 86
トラブルシューティング（Music モード） 88
トラブルシューティング（FM ラジオモード） 89
トラブルシューティング（その他一般事項） 90

付録 91
ファイルのアップロード / ダウンロード 92
内蔵 HDD のフォーマット 94
リモコンの使い方（RMOPT-600LC/ オプション）........ 96
リモコンの各部名称 96
ディスプレイ表示 /Music モード 97
ディスプレイ表示 /FM ラジオモード 97
リモコン・オペレーション・ガイド（RMOPT-600LC/ オプション）........ 98
Music モード（音楽再生時）........ 98
Voice/Line モード（録音時）........ 99
FM モード（FM ラジオ受信時）........ 99
主な仕様 100
パソコンの最低動作環境 101
ハードウェア保証規定 102
アフターサービスについて 104
サポートセンターのご案内 105
索引 107

お使いになる前に（準備）

各部の名称やディスプレイに表示されるマークの意味など、本製品の操作に必要な内容について紹介します。特に、本製品をはじめてお使いになる場合に必ずお読みください。

各部の名称と機能

正面図

ディスプレイ
ファイル名などさまざまな情報を表示します（P.20）。

スティックコントローラー

⏮ や ⏭ や＋ / －の方向に動かして、曲の早戻し / 早送り（P.43）やモード（P.45）/ メニュー（P.72）などのさまざまな設定項目の選択をします。

スティックコントローラーを押すと、メニューの表示や選択項目を確定できます（P.72）。

MIC
ボイスレコーディング時に使います（P.40）。

ステレオスピーカー
音楽の再生時に使います。音を消したり、モノラル / ステレオ再生の設定もできます（P.76）。

上側面

USB ジャック

パソコンの USB ポートに付属の USB ケーブルを使って接続します(P.30)。

ジャック

付属のインナーヘッドホンを接続します(P.42、46)。

INPUT ジャック

ダイレクトレコーディングケーブルを使って CD や MD などのオーディオプレイヤーと接続し、録音します（P.40)。

下側面

SD CARD IN スロット

カバーを開け、SD カードを装着します（P.66)。

左側面

EQ ボタン
短く押すとプリセット EQ を切り替えます（P.54）。長く押すとナビゲーションモードになります（P.44）。

DC IN ジャック
付属の AC アダプターを接続します（P.24）。専用 AC アダプター以外は接続しないでください。

HOLD スイッチ
ボタンやスイッチの誤動作を防ぎます（P.48）。

右側面

▶/II ボタン
電源をオン / オフしたり（P.34）、オーディオファイルを再生 / 一時停止します（P.42）。
FM ラジオの受信を開始 / 停止します（P.46）。

RESET ボタン
不具合時に強制終了します（P.65）。

REC ボタン
停止状態で長く押すとボイス / ダイレクトレコーディングの待機状態になります（P.40）。FM ラジオモードでは、FM レコーディングを始めます（P.64）。
曲の再生中に短く押すと、A-B リピート再生するリピート区間を設定します（P.52）。

ワンポイント

音楽を楽しむためのマナー
音楽をお楽しみになる際は、周囲の人の迷惑とならない音量でお聞きください。また、夜間では小さな音も遠くまで聞こえるようになりますので音量には充分配慮した上でお楽しみください。

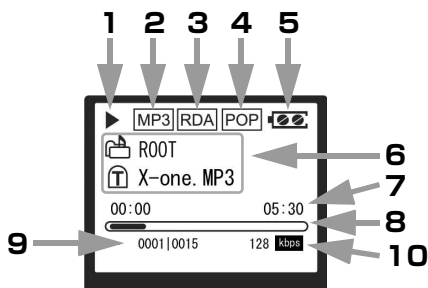
コントローラーやボタン操作についての注意

スティックコントローラー をはじめとする各コントローラー / ボタンは、短く動作したときと 2 秒以上動作を継続したときで、操作内容が変わる場合があります。

本取扱説明書では、コントローラー / ボタンを短く押したり動かす場合は「押す / 動かす」、2 秒以上押し続けたり動かしたままにする場合は「押したまま / 動かしたまま」と表記しています。

コントローラー / ボタン操作の詳細については「オペレーション・ガイド」（P.49）をご覧ください。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

ディスプレイの見方（Music モード）

1	▶ II ◀◀ ▶▶ ■	**再生 / 停止 / 一時停止、早戻し / 早送り表示** 再生、停止、一時停止等の状態を表示します。
2	MP3	**ファイル形式表示** 再生中または選択したオーディオファイルのファイル形式（WMA/MP3）を表示します（P.68）。
3	A-B	**A-B リピート表示** A-B リピート再生を選択したときに表示されます（P.52）。
	RP	**リピート表示** １曲のみリピートするリピート再生を選択したときに表示されます（P.53）。
	RPA	**リピート・オール表示** 全曲をリピートするリピート・オール再生を選択したときに表示されます（P.53）。
	RD	**ランダム表示** ランダムな曲順で再生するランダム再生を選択したときに表示されます（P.53）。全曲再生が終わると停止します。
	RAD	**ランダム・オール表示** ランダムな曲順で繰り返し再生するランダム・オール再生を選択したときに表示されます（P.53）。ノンストップで曲を再生します。

	NO	**通常再生表示** 通常の再生を行います（P.53）。

※ 上記プレイモードの中からいずれかひとつを選択できます。

4	POP	**EQ 表示** EQ ボタンで［NOR（Normal）/ROC（Rock）/JAZ（Jazz）/CLA（Classic）/POP/SP01/SP02/EQ01/EQ02/EQ03］のいずれかを選んだときに表示されます（P.54）。
5		**電池レベル表示** 電池の残量（目安）を表示します（P.34）。
6	ROOT X-one.MP3	**フォルダ / ファイル名 /ID3 タグ情報表示** 選択 / 再生中のフォルダ / ファイル名を表示します。日本語に対応しており、ID3 タグ（P.68）情報を持ったファイルの場合は、その内容が表示されます。

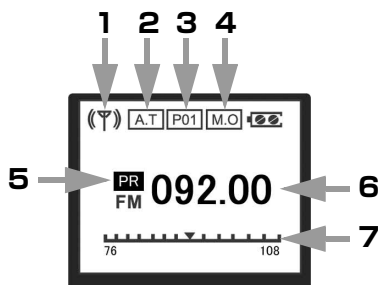
※ ファイル名は拡張子を合わせ半角 25 文字までの表示となります。ID3 タグは V1,V2 に対応しますが、液晶に表示されるのはタイトル情報のみとなります。ID3 V1 と V2 両方が存在する場合、V2 が優先されます。

7	00:00	**タイム・カウンター表示** 左側は再生 / 一時停止中の曲の経過時間を、右側はその曲のトータル時間を［分：秒］の単位で表示します。
8		**プレイポジション表示** 再生 / 一時停止中の曲の経過時間をグラフィカル表示します。
9	0001|0015	**曲番号 / 曲数表示** 選択 / 再生中のオーディオファイルの曲番号と、全曲数を表示します。

※ 全曲数は、メニューの［Setting］－［Folder Play］（P.77）で［F.A（Folder All）］が選ばれている場合は、内蔵 HDD に保存されている全曲数が、［C.F（Current Folder）］が選ばれている場合は、現在選ばれているフォルダ内の曲数が表示されます。

10	128 kbps	**ビットレート表示** 選択または再生中のオーディオファイルのビットレートを表示します（P.58）。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

ディスプレイの見方（FM ラジオモード）

1	((Ƭ))	**FM ラジオ受信表示** FM ラジオ受信中の状態を表示します。何もアイコンが表示されていない場合は、受信待機状態を表します（P.46）。
2	A.T	**自動 / 手動選局表示** FM ラジオモードで［Auto Preset］（自動選局）メニューが実行されているときは［A.T（Auto Tunning)］と表示されます（P.46）。それ以外では手動選局となり［M.T（Manual Tunning)］と表示されます。
3	P01	**プリセット番号表示** プリセット登録している放送局（周波数）のプリセット番号を表示します（P.60）。
4	M.O	**ステレオ / モノラル表示** 受信中の FM ラジオがステレオ放送のときは［S.T（Stereo）］、モノラル放送のときは［M.O（Mono）］と表示されます。
5	PR	**プリセット選局モード表示** プリセット選局モードに設定されたときに表示されます。プリセット選局モードでは、放送局（周波数）をあらかじめ登録しておいたプリセット番号で選択できます（P.46）。

6	092.00	**受信周波数表示** 受信中の周波数を表示します。
7	76 108	**受信周波数バー表示** 受信中の周波数をバー表示します。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

充電のしかた

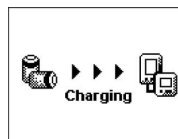
本製品は、付属の AC アダプターを接続して内蔵電池を充電できます。電池レベル表示（P.34）を確認し、残量が少ないときは充電してください。

1 DC IN ジャックに AC アダプターを接続する

2 AC アダプターをコンセントに接続する

必ず交流 100V の家庭用コンセントに接続してください。

3 充電が開始する

充電が始まるとディスプレイに［Carging］と表示されます。

4 充電を終了する

充電が終わるとディスプレイに［Complete］と表示されます。AC アダプターをコンセントおよび本体から取り外します。

注意

AC アダプターを使う場合は、「安全上のご注意」（P.4）、「電池についての安全上のご注意」（P.8）をよく読み、充電をしてください。

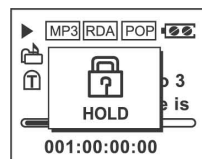
ワンポイント

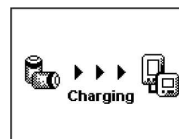
- 電池残量がなくなった状態から完全に充電されるまで約 3 時間かかります。ただし、音楽を再生しながら充電をした場合は、さらに時間がかかります。
- AC アダプターを使って本体を動作させているときは、電池レベル表示（ ）が電源駆動表示（ ）となります。
- 充電が必要になるとディスプレイに［Low Battery］と表示されます。

USB 接続したパソコンから充電する

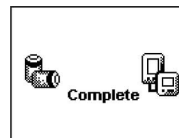
パソコンが起動している状態で本体をパソコンに USB 接続をすると、電池の充電ができます。ただし、ディスプレイに［Low Battery］と表示された状態では USB 接続で充電はできません。必ず付属 AC アダプターで充電してください。

1 HOLD 機能をオンにする

HOLD スイッチを本体下方向に押すように動かします（P.48）。ホールド機能がオンの状態で、ボタン操作を行うと、ディスプレイに［HOLD］と数秒間表示されます。

2 本体をパソコンに USB 接続する

正常に接続されると充電は始まり、ディスプレイに［Carging］と表示されます。

3 充電を終了する

充電が終わるとディスプレイに［Complete］と表示されます。

本体をパソコンから取り外します。

注意

- USB 接続による充電中は、本体はパソコンにリムーバブルディスクとして認識されないため、ファイルのアップロード / ダウンロードはできません。
- USB 接続による充電は、[Complete] と表示された状態でも約 80% 程度の充電率となります。できるだけ AC アダプターを利用して充電してください。
- 本製品は、通常の USB 接続時でも可能な限り充電を行いますが、ファイルの連続コピーなどを行うとバッテリーを急速に消耗する場合があります。多量のファイルをコピーする場合やデータサイズの大きなファイルをコピーする場合には、電池残量に充分に注意してください（可能な限り、パソコン接続時にも AC アダプタを併用する事をおすすめいたします）。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

Windows Media Player 用プラグインソフトウエアのインストール

付属 CD-ROM には、Windows Media Player（バージョン 7.0 以降）から本製品にファイルを転送するために必要な専用プラグインソフトウェアが収録されています。Windows Media Player を使って内蔵 HDD にオーディオファイルを転送するときには、専用プラグインのインストールが必須となります。

1 インストールの準備

付属 CD-ROM をパソコンのドライブに入れると自動的にインストーラーが起動します。

2 インストールの開始

[次へ] をクリックすると、自動的にインストールが開始します。

3 インストールの完了

インストールが完了したら、[完了] をクリックします。

Windows98 用ドライバのインストールのしかた

付属 CD-ROM には、Windows98SE 用のドライバソフトウェアが収録されています。本製品を Windows98SE でお使いになる場合のみ、ドライバのインストールも必要です。他の OS では必要ありません。

注意

- インストール手順を間違えると、パソコンが本体を認識になくなりますので充分にご注意ください。
- Windows98SE で本製品を使用する場合は、最初に 1 度だけドライバをインストールすると、次回からは、本製品をパソコンに接続するだけで使用できます。

1 パソコンの USB 接続する

Windows98SE を起動します。本体をパソコンの USB ポートにしっかりと奥まで挿し込んでください。USB ジャックには向きがありますのでご注意ください。

本体の電源がオフの状態でパソコンと接続すると、自動的に電源がオンとなります。

2 ［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動する

初めてインストールする場合やドライバを削除した場合には、ドライバのインストールを促す［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動します。

プロパティウィンドウで「ドライバの再インストール」や「ドライバの更新」を行った場合には、［デバイスドライバの更新ウィザード］が起動します。

［次へ］をクリックします。

3 ドライバを検索する

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] にチェックを入れて [次へ] をクリックします。

4 検索場所を指定する

[CD-ROM ドライブ] にチェックを入れて [次へ] をクリックします。

5 インストールを開始する

[次へ] をクリックしてインストールを開始します。

6 インストールを終了する

ドライバのインストールが完了したことを表すメッセージが表示されます。[完了] をクリックします。

以上で、ドライバのインストールは完了です。

ワンポイント

- デバイスドライバを更新した場合には、デバイスドライバを有効にするために、再起動を促すメッセージが表示されますので、[はい] をクリックして Windows を再起動させるとデバイスドライバが認識されます。
- WindowsMe/2000/XP の場合、本製品は USB マスストレージクラス対応のため、ドライバソフトウェアのインストールは必要がなく、本体をパソコンに USB 接続すると自動的に認識されます。

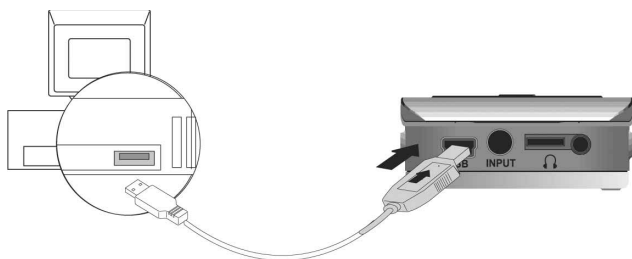
パソコンとの接続のしかた

本製品は、パソコンと USB 接続してオーディオファイルを本体に転送することによって、気軽に音楽を楽しめます。

ワンポイント

ご利用のパソコンに搭載されている OS が Windows98SE のときは、本製品をパソコンに接続する前にドライバソフトウェアのインストールが必要となります（P.27）。WindowsMe/2000/XP ではじめてお使いになるときには、本製品は USB マスストレージクラス対応（P.69）のため、パソコンに接続すると自動的に認識され、ドライバソフトウェアがインストールされます。

1 付属USBケーブルで本体USBジャックとパソコンのUSBポートを接続する

しっかりと奥まで挿し込んでください。USB ジャックには向きがありますのでご注意ください。
本体の電源がオフの状態でパソコンと接続すると、自動的に電源がオンとなります。

パソコンが本体を認識するとハードウェアの追加画面が表示され、タスクトレイにアイコンが表示されます。

2 パソコンの［マイコンピューター］を開く

本体は「X-ONE」として表示されます。

ワンポイント

- ドライブ名は、お使いのパソコンの環境（ハードディスクの状態や外付け周辺機器の状態）により自動的に割り当てられます。図では本体が「ドライブ：G」としてパソコンに認識されている状態を示しています。
- 本製品は USB2.0 HI-SPEED に対応していますが、USB1.1 対応ポートに接続した場合は、USB1.1 FULL SPEED での接続となります。
- パソコンと USB 接続をしている間は、本体の操作はできません。
- パソコンが起動している状態で本体をパソコンにUSB接続をすると、電池の充電ができます。ただし、ディスプレイに「Low Battery」と表示された状態では USB 接続で充電はできません。必ず付属 AC アダプターで充電してください。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

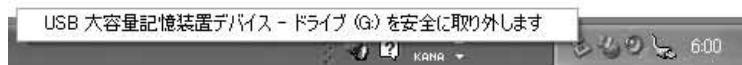
パソコンからの取り外しかた

パソコンの電源が入っている状態で本体をパソコンから取り外すときは、以下の手順で取り外してください。パソコンの電源が切れているときは、以下の手順は不要です。

注意

以下の手順をふまずに本体をパソコンから取り外すと、本体およびパソコンに不具合が発生する場合があります。特にファイル転送中などに強制的に取り外すとファイルの損失や故障の原因となります。必ず、以下の手順で取り外してください。

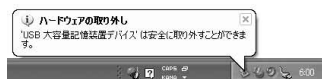
1 タスクトレイの［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックする

2 一覧から本体を選ぶ

パソコンに USB 接続されている機器の一覧が表示されるので、本体（USB 大記憶装置デバイス）を選びます。

ワンポイント

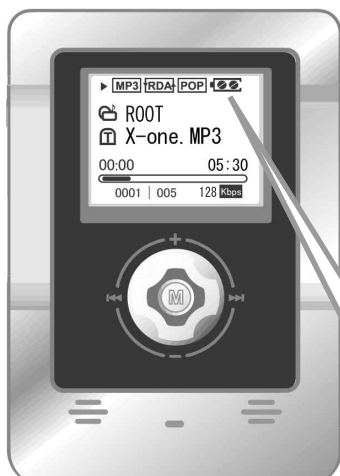
［ハードウェアの安全な取り外し］ウィンドウが表示されたときは、本体を選んで［停止］ボタンをクリックします。［ハードウェアデバイスの停止］ウィンドウが表示されたら［OK］をクリックします。

3 本体を取り外す

「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、本体をパソコンから取り外します。

簡単にお使いください

ここだけ読めばすぐに使えます

この章では、本製品のもっとも基本的な操作を説明しています。ここだけ読んでも本製品をご利用いただけます。さらに細かく使いこなしたい場合は、この章以降のページをご参照してください。

簡単に使う　電源を入れよう

1：▶/II ボタンを押す

電源が入り、[Loading] と表示されます。

2：電池レベル表示を確認する

ディスプレイの電池レベル表示を確認します。残量が少ないときは、電池を充電してください（P.24）。図が右へいくほど電池残量が少ないことを表します。

ワンポイント

- 電源がオンにならない場合は、次の点をご確認ください。
  電池が空になっていないか
  HOLD スイッチがオンになってないか（P. 48）

簡単に使う

電源を切ろう

1：▶/Ⅱ ボタンを 2 秒以上押したままにする

電源が切れます。

ワンポイント

- ▶/Ⅱ ボタンを押している時間が短いと電源がオフになりません。
- 電源がオフにならない場合は、HOLD スイッチがオンになってないかご確認ください(P. 48)。

簡単に使う　音楽 CD をパソコンに録音しよう

Windows に標準で用意されているアプリケーション「Windows Media Player」を使って、お気に入りの CD をパソコンに録音できます。録音してできたオーディオファイルを本体に転送すれば、いつでも手軽に音楽を楽しめます。

1：Window Media Player を起動する

Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択します。

2：CD をパソコンのドライブに入れる

パソコンの設定により CD が自動再生される場合は停止してください。

3：録音する曲を選ぶ

1：タスクバーの［CD から録音］をクリックして CD の収録曲リストを表示させせます。

2：録音したい曲のチェックボックスをオンにします。

4：録音する

［音楽の録音］をクリックすると、録音が始まります。

リストに「ライブラリに録音済み」と表示されたら録音完了です。

注意

Windows Media Player はバージョン 7.0 以降をご使用ください。

ワンポイント

- Windows Media Player のより詳細な使い方は、同アプリケーションの［ヘルプ］をご覧ください。
- Windows Media Player で初めて録音するときは「録音した音楽にコピー防止を追加する / しない」選択など、いくつかのオプションが表示されます。
- 録音したオーディオファイルは、初期設定では［マイドキュメント］の［マイミュージック（My Music)］フォルダにアーティストまたはグループ名のサブフォルダが自動作成され、その中に保存されます。これらはタスクバーの［メディアライブラリ］をクリックすると表示されます。音楽ファイルの保存先フォルダは、［ツール］メニューの［オプション］で変更できます（インターネットに接続されていない場合は「不明なアーティスト」、「不明なアルバム」などになります)。

簡単に使う オーディオファイルを本体に転送しよう

Windows Media Player やインターネットなどを使ってパソコンに取り込んだオーディオファイル（WMA/MP3 形式）は、本体に転送することで再生できます。

1：本体をパソコンにUSB接続する(P.30)

正常に接続されると本体のディスプレイに［CONNECT］と表示されます。

2：Window Media Player を起動する

Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択します。

3：転送するオーディオファイルを選ぶ

1：タスクバーの［デバイスへ転送］をクリックします。

2：左側の［転送する項目ウィンドウ］のドロップダウンリストで、転送する再生リスト、区分、または項目を選び、オーディオファイル一覧を表示します。［すべての音楽］を選ぶと、パソコンに取り込まれているすべてのオーディオファイルを表示できます。

3：転送したいファイルのチェックボックスをオンにします。

4：本体を転送先に選ぶ

[デバイス上の項目]ウィンドウのドロップダウンリストで、本体を選びます。どのドライブに割り当てられているかは、パソコンの［マイコンピューター］を開いて確認してください（P.31）。

5：転送する

[転送]ボタンをクリックすると、転送が始まります。リストに「完了」と表示されたら転送完了です。

注意

- Windows Media Player で本体にファイルを転送するには付属ソフトウェアをインストールしておく必要があります。
- オーディオファイルが持っている DRM（デジタル著作権管理）情報の内容によっては、本体に転送ができなかったり、転送しても再生できないことがあります（P.68）。
- 本体に存在するファイルと同じ名前のファイルを転送すると、既存ファイルは上書きされます。
- 本体のパソコンへの接続および取り外しの詳細な手順、注意事項については「パソコンとの接続のしかた」（P.30）をご覧ください。
- 転送中は、本体をパソコンから取り外さないでください。
- Windows Media Player はバージョン 7.0 以降をご使用ください。

ワンポイント

- Windows Media Player のより詳細な使い方は、同アプリケーションの［ヘルプ］をご覧ください。
- 本体のドライブ名（図では G:）は、お使いのパソコン環境により自動的に割り当てられるため、必ずしも G ドライブとなるとは限りません。
- Windowsのエクスプローラを使ってもファイルのアップロード/ダウンロードができます。ただし、この場合はオーディオファイルの内容によっては本体で再生できないことがあります。詳細は「ファイルのアップロード / ダウンロード」（P.92）をご覧ください。

簡単に使う　MP3 録音しよう

本製品では MIC で録音（ボイスレコーディング）、またはオーディオ機器を接続して録音（ダイレクトレコーディング）ができます。

1：オーディオ機器を接続する（MIC で録音するときは不要）

付属ダイレクトレコーディングケーブルで本体の INPUT ジャックとオーディオ機器を接続します。

2：MP3 のビットレートを設定する（P.58）

1：を押して、メニュー一覧を表示させます。

2：を上下に動かして［Recording］を選び、を右に動かします。

3：を上下に動かして MIC で録音するときは［Voice］を、オーディオ機器を接続して録音するときは［Line in］を選びます。を押します。

4：を押すごとにビットレートが変更します。

5：設定が終わったら を左に 2 回動かします。
元の画面に戻ります。

3：録音ソースを設定する

を押したままにして、モードチェンジ（MODE C.H）画面（P.45）を表示します。 を上下に動かして［Voice］または［Line］を選びます。

を押すと、録音待機状態となります。録音待機状態をキャンセルするときは EQ ボタンを押します。

4：録音する

REC ボタンを押すと録音が始まります。

▶/Ⅱ を押すと録音を一時停止します。

再度▶/Ⅱ を押すと録音を再開します。

5：録音を停止する

REC ボタンを押すと録音を停止します。録音開始から 5 秒以内は停止できません（一時停止は可能です）。

注意

- 操作上の問題または本製品の不具合により、正常に録音されなかった内容の保証についてはご容赦ください。
- 録音時にヘッドホンから聞こえる音量・音質は、再生時のものと異なります。事前に試し録音をして、再生時の音量・音質をご確認ください。

ワンポイント

- ボイスレコーディングしたオーディオファイルは、V001、V002、V003…というファイル名で VOICE フォルダ内に、ダイレクトレコーディングしたオーディオファイルは、E001、E002、E003…というファイル名で LINE フォルダ内に保存されます。
- 停止状態で REC ボタンを押したままにすると、直近に行ったモード（Voice/Line）での録音待機状態となります。
- ディスプレイに表示されるメニュー一覧やモードチェンジ画面は、何も操作せずに一定時間が過ぎると元の画面に戻ります。
- 録音レベルは、録音ソースの音量に依存します。
- FM ラジオを録音することもできます（P.64）。

簡単に使う　再生しよう

本製品は、WMA や MP3 形式のオーディオファイルを再生して音楽を楽しめます。

1：接続する

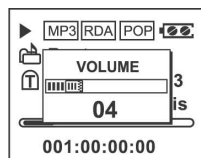
ジャックに付属のヘッドホンを接続します。
ステレオスピーカーを使う場合は、Settingメニューの[Speaker S.D]の設定をします（P.76）。

2：再生する

▶/‖ ボタンを押すと、再生が始まります。

もう一度 ▶/‖ ボタンを押すと一時停止し、再び ▶/‖ ボタンを押すと一時停止した部分から再生が始まります。

3：音量を調整する

を上下させて、最適な音量に調整します。音量は、ディスプレイに表示されます。
何も操作せずに一定時間が過ぎると、元の画面に戻ります。

4：早送りや早戻しをする

を使うと次のような操作ができます。

●早送り再生

再生状態で を ▶▶| に動かしたままにします。

●早戻し再生

再生状態で を |◀◀ に動かしたままにします。
その曲の先頭まで戻ると、通常の再生が始まります。

●次の曲の頭出し再生

再生状態で を短く ▶▶| に動かします。

●再生中の曲の頭出し再生

再生が始まって 5 秒以上経過した後に を短く |◀◀ に動かします。

●前の曲の頭出し再生

再生が始まって 5 秒以内に を短く |◀◀ に動かします。

ワンポイント

- ▶/‖ ボタンを 2 秒以上押したままにすると、電源がオフになります。
- お買い上げ時には、あらかじめデモファイルが本体メモリに用意されています。すぐに動作を確認したいときは、このデモファイルを再生してください。
- パソコンと USB 接続をした状態では、本体の再生などの操作はできません。

簡単に使う　曲を選ぼう（ナビゲーションモード）

録音やファイルの転送によって内蔵 HDD に保存されたオーディオファイルは、ナビゲーションモードで使って簡単に探して再生できます。

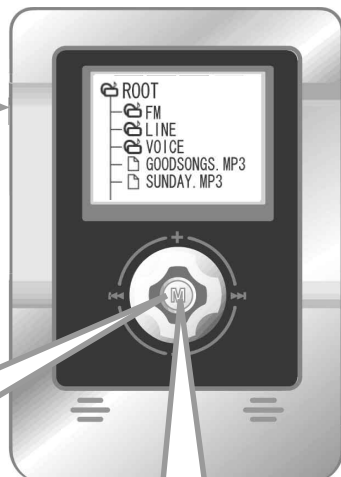
1：ナビゲーションモードに入る

EQ ボタンを押し続けると、ディスプレイがナビゲーションモードに切り替わり､内蔵HDDに保存されているフォルダやファイルがツリー表示されます。

2：ファイルを探す

を上下に動かしてフォルダを選びます。

を右に動かすとフォルダ内部のファイルが表示されます。

を左に動かすと元に戻ります。

3：ファイルを選択する

ファイルを選択したら を押します。

選択したオーディオファイルが自動的に再生されます。

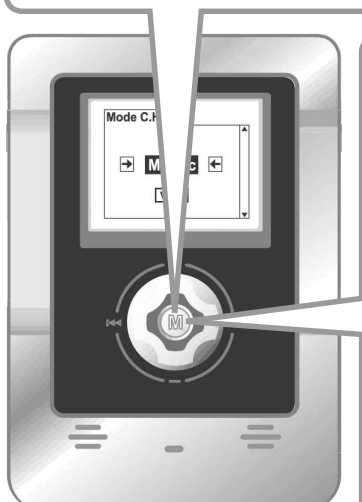
ワンポイント

途中でナビゲーションモードから抜けたい場合は、EQ ボタンを押します。

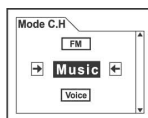
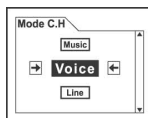
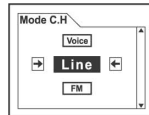
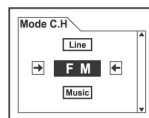
簡単に使う　モードについて

本製品には、音楽の再生 / 録音用の４つのモードとファイルサーチ用のナビゲーションモードがあります。ここでは、音楽を再生 / 録音するモードについて説明します。

1：モードチェンジ（MODE C.H）画面を表示する

を押したままにし、ディスプレイにモードチェンジ（MODE C.H）画面を表示します。

2：モードを選ぶ

を上下に動かしてモードを選び、を押してモードを確定します。

● Music
オーディオファイルを再生します。

● Voice
MIC を使って録音します（ボイスレコーディング）。

● Line
INPUT ジャックに外部オーディオ機器を接続して録音します(ダイレクトレコーディング)。

● FM
FM ラジオを受信します。

ワンポイント

- [Voice] または [Line] を選んだ場合は、録音待機状態となります。
- [FM] を選んだ場合は、FM ラジオ受信待機状態となります。
- FM ラジオモードでは、FM ラジオの録音もできます。

簡単に使う FM ラジオを聞こう

本製品では、日本だけでなく北米、ヨーロッパの周波数に対応した FM チューナーが内蔵されています。

1：接続する

ジャックに付属のヘッドホンを接続します。ステレオスピーカーを使う場合は、Setting メニューの［Speaker S.D］の設定をします（P.76）。

2：FM ラジオモードにする

1：を押したままにして、モードチェンジ（MODE C.H）画面を表示します。

2：を上下に動かして［FM］を選びます。

3：を押すと、ディスプレイが FM ラジオモードに変わります。

3：選局する

自動選局または手動選局で、放送局（周波数）を設定します。

選局のしかたは以下をご覧ください。

4：FM ラジオを聞く

▶/Ⅱ ボタンを押すと放送が聞けます。

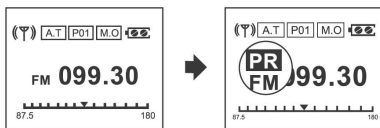
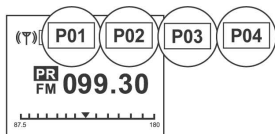
自動選局のしかた

1 を押して、ディスプレイに FM メニュー一覧を表示します。

2 を上下に動かして［Auto Preset］を選びます。

3 を ▶▶| 方向に動かします。

4 を上下に動かして［YES］を選び、を押すと自動的に選局（スキャニング）が始まります。

5 ディスプレイのプリセット番号表示が［P01］に変わり、電波をキャッチすると［P02]、[P03]、[P04］…と順番に周波数が自動的にプリセット登録されます。
スキャニングが終了するとプリセット番号表示が［P01］に戻り、プリセット選局モードに切り替わります（P.22)。

6 を左右に動かして、聞きたい局のプリセット番号を選びます。

手動選局のしかた

1 プリセット選局モードになっている場合は、EQ ボタンを押してプリセット選局モード表示を消します。

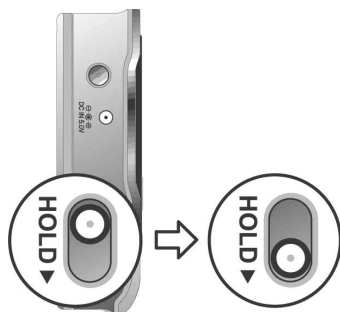
2 を左右に動かして FM チューナーの周波数を設定します。左右に動かすと、周波数は 0.05MHz 単位で変えられます。
数秒間の左右に傾けたままにすると、スキャニングが始まり、電波をキャッチすると止まります。
途中でスキャニングをやめたいときは、を左に動かします。

ワンポイント

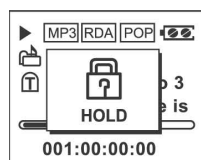
- 本製品はイヤホンアンテナ方式によって電波を受信します。FM ラジオを聞くときは、必ずヘッドホンを ジャックに接続してください。
- 電池の残量が少ないと雑音が発生しやすくなります。充分に充電した状態でをお使いください。
- EQ ボタンを押すたびにプリセット選局モードと手動選局モードが切り替わります。
- FM ラジオモードを解除するときは、ステップ 2 の手順 2 で［Music］を選びます。
- 手動選局した結果をプリセットに登録できます（P. 60)。
- ラジオ録音もできます（P. 64)。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

簡単に使う　誤動作を防ごう（ホールド機能）

ホールド機能を使うと、気付かないうちにコントローラーやボタンが押されるいった誤動作を防げます。HOLD スイッチを矢印方向に動かすとホールド機能がオンになります。

1　ホールド機能をオンにする

HOLD スイッチを本体下方向に押すように動かします。

ホールド機能がオンの状態で、ボタン操作を行うと、ディスプレイに［HOLD］と数秒間表示されます。

ワンポイント

ホールド機能をオンにすると、電源のオン / オフも操作できません。

オペレーション・ガイド

本体のコントローラーやボタン操作をまとめた一覧です。モードやボタン操作の時間（タイム）で、操作内容が変わります。

Music モード（音楽再生時）

コントローラー&ボタン	タイム	停止/一時停止状態	再生状態
▶/II	短	再生	停止
	長	電源オフ	電源オフ
▶▶I	短	次の曲を選択	次の曲を頭出し再生
	長	連続で次の曲を選択	早送り再生
I◀◀	短	前の曲を選択	再生開始から5秒以内：前の曲を頭出し再生 再生開始から5秒以上：現在の曲を頭出し再生
	長	連続で前の曲を選択	早戻し再生
（押す）	短	メニュー選択	メニュー選択
	長	モード選択	モード選択
REC	短	---	A→Bリピート設定
	長	録音待機状態(停止状態のみ)	プレイモードの選択
EQ	短	---	EQ選択
	長	ナビゲーションモード	ナビゲーションモード
VOL＋	短	ボリューム↑(1レベル)	ボリューム↑(1レベル)
	長	ボリューム↑↑(連続)	ボリューム↑↑(連続)
VOL－	短	ボリューム↓(1レベル)	ボリューム↓(1レベル)
	長	ボリューム↓↓(連続)	ボリューム↓↓(連続)

Voice/Line モード（録音時）

コントローラー&ボタン	タイム	録音待機状態	録音状態
▶/II	短	電源オフ	録音一時停止
（ジョイスティック）	長	モード選択	―――
REC	短	録音開始	録音停止
EQ	短	キャンセル	―――

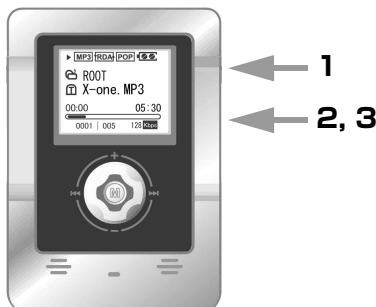
FM モード（FM ラジオ受信時）

コントローラー&ボタン	タイム	受信待機状態	プリセット選局モード
▶/II	短	受信開始	停止
	長	電源オフ	電源オフ
▶▶I	短	受信周波数↑(0.05Hz)	次のプリセットを選局
	長	受信周波数↑↑(連続)	連続して次のプリセットを選局
I◀◀	短	受信周波数↓(0.05Hz)	次のプリセットを選局
	長	受信周波数↓↓(連続)	連続して次のプリセットを選局
（ジョイスティック）	短	FMメニュー選択	FMメニュー選択
	長	モード選択	モード選択
REC	短	FM録音開始/停止	FM録音開始/停止
EQ	短	プリセット選局モード	プリセット選局モード
VOL＋/－	短	ボリューム↓↑(1レベル)	ボリューム↓↑(1レベル)
	長	ボリューム↓↑(連続)	ボリューム↓↑(連続)

いろいろな再生 / 録音の楽しみかた

この章では、曲の再生や録音に関する便利な機能を説明しています。必要に応じてお読みください。

一定区間を繰り返し再生しよう（A → B リピート再生）

曲の中でリピートの開始点と終点を設定すると、その区間を繰り返し再生できます。

1 曲を再生する

▶/‖ ボタンを押します。

2 開始点（A）を設定する

再生しながら、リピート再生を開始したいポイントで REC ボタンを押します。

3 終点（B）を設定する

リピート再生を終了したいポイントで REC ボタンを押すと A → B 区間が設定され、A → B リピート再生が始まります。

ディスプレイには A → B リピートのアイコン A-B が表示されます。

ワンポイント

- 2 曲以上をまたがった A/B ポイントの設定はできません。
- A/B ポイントの設定は、電源をオフにすると失われます。
- 終点（B）を設定せずに曲が終わると、自動的に曲の最後が終点（B）として設定されます。
- 終点（B）は開始点（A）から 3 秒以上のポイントで設定してください。

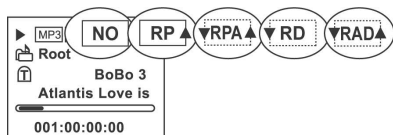
再生方法を選択しよう（プレイモードの選択）

本製品には 5 通りの再生方法（プレイモード）があり、再生 / 一時停止状態で選択できます。

1 曲を再生 / 一時停止する

▶/II ボタンを押して曲を再生または一時停止状態にします。

2 プレイモードを選ぶ

RECボタンを2秒以上押すとディスプレイのプレイモード表示が次のように切り替わります。

RP リピート：1 曲のみを繰り返し再生します。

RPA リピートオール：全曲を繰り返し再生します。

RD ランダム：ランダムな曲順で再生します。全曲再生が終わると停止します。

RAD ランダムオール：ランダムな曲順で繰り返し再生します。

NO ノーマル：曲順通りに通常再生します。

ワンポイント

- A → B リピート再生を設定している場合は、A-B が表示されます。
- 停止状態で REC ボタンを押すと、録音待機状態となりますので、必ず再生 / 一時停止状態で操作してください。

好みの音質に調整しよう（プリセット EQ）

５つの音楽ジャンルとステレオスピーカーの再生に最適化された合計７つのプリセットイコライザー（EQ）が用意されており、好みの音質で音楽を楽しめます。再生 / 一時停止状態で選択できます。

1 曲を再生 / 一時停止する

▶/Ⅱ ボタンを押して曲を再生または一時停止状態にします。

2 プリセットイコライザーの種類を選ぶ

EQ ボタンを押すとディスプレイの EQ 表示が [NOR（Normal）/ROC（Rock）/JAZ（Jazz）/CLA（Classic）/POP/SP01/SP02/EQ01/EQ02/EQ03] の順番に切り替わり、プリセット EQ を選びます。

NO	通常の音質です。
ROC	ロックの再生に適した音質です。
JAZ	ジャズの再生に適した音質です。
CLA	クラシックの再生に適した音質です。
POP	ポップスの再生に適した音質です。
SP01 SP02	内蔵ステレオスピーカーでの再生に適した音質です。
EQ01 EQ02 EQ03	ユーザー自身が設定したユーザー EQ の音質です（P.56）。

ワンポイント

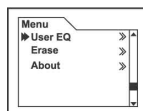
- EQ ボタンを 2 秒以上押し続けるとナビゲーションモード(P. 44)となりますので、EQ ボタンは短く押してください。
- 通常の音質で再生をするときは、[NOR（Normal)] を選んでください。
- [SP1] および [SP2] を選ぶと、内蔵ステレオスピーカーでの再生に適した音質になります。
- [EQ01] ～ [EQ03] はユーザーイコライザー（EQ）です。ユーザー自身が自由に音質を調整しプリセット登録できます（P. 56)。

オリジナルの音質を設定しよう（ユーザー EQ）

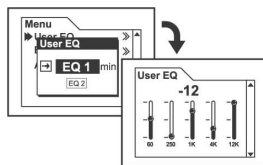
ユーザー自身が自由に音質を設定し、その結果を［EQ01］～［EQ03］にプリセット登録できます。User EQ メニューで設定します。

1 メニューを表示する

を押して、メニュー一覧を表示させせます。

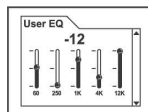
を上下に動かして［User EQ］を選びます。

2 登録するユーザー EQ を選ぶ

を右に動かしてユーザーEQ ナンバー選択画面を表示させせます。

を上下に動かして、[EQ01] ～ [EQ03] の中から登録したいユーザー EQ を選びます。

3 音質を調整する

を押して、EQ スライダーを表示させせます。

を左右に動かして、60/250/1K/4K/12K (Hz) のスライダーを選びます。

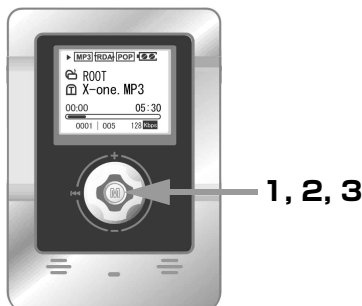
を上下に動かして、音質を調整します。上に動かすとその周波数帯域の音が強調され、下に動かすとカットされます。

4　プリセットに登録する

音質を調整したら を押します。
設定が保存されてプリセットに登録されると、元の画面に戻ります。

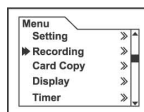
ワンポイント

- メニューの操作方法の詳細は「メニューの使いこなしかた」(P.71)をご覧ください。
- を押し続けると、メニュー一覧ではなくモードチェンジ（Mode C.H）画面が表示されます。 は短く押してください。

録音の品質を設定しよう～ビットレート

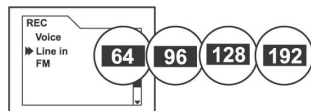
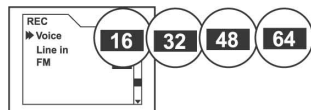
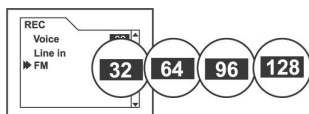
ビットレートとは、1 秒間に転送できるデジタル信号の量を表したものです。メニュー一覧から設定します。一般に数値が高いほど高音質となりますが、データの量（ファイルサイズ）は大きくなります。

1 メニューを表示する

を押して、メニュー一覧を表示させせます。

を上下に動かして［Recording］を選び、 を右に動かします。

2 レコーディングの種類を選ぶ

を上下に動かして、［Voice］、［Line in］、［FM］の中からレコーディングの種類を選びます。

3 ビットレートを設定する

を押してビットレートを設定します。

設定が終わったら を左に動かして元の画面に戻ります。

ワンポイント

- メニューの操作方法の詳細は「メニューの使いこなしかた」(P.71) をご覧ください。
- を押し続けると、メニュー一覧ではなくモードチェンジ (Mode C.H) 画面が表示されます。 は短く押してください。

よく聞く FM ラジオ局をプリセット登録しよう（プリセット登録）

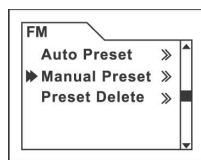
内蔵 FM チューナーは手動で選局した放送局（周波数）をプリセットに登録できます。

1 FM ラジオモードにして、手動で選局する

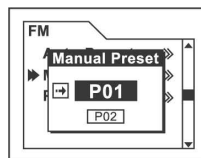
手順は「FM ラジオを聞こう」（P.46）をご覧ください。

2 FM メニューを表示する

を押してメニュー一覧を表示します。

を上下に動かし [Manual Preset] を選びます。

3 登録するプリセット番号を選ぶ

を右に動かしプリセット番号（[P01]～[P20]）を表示します。

を上下に動かし登録するプリセット番号を選びます。

4 放送局（周波数）を登録する

を押すと、手順 1 で選局した放送局（周波数）が手順 3 で選んだプリセット番号に登録され、元の画面に戻ります。

を左に動かして FM ラジオモード画面に戻ります。

ワンポイント

- 手順 3 で選んだプリセット番号に既に登録があるときは内容が上書きされます。
- を押し続けると、メニュー一覧ではなくモードチェンジ（Mode C.H）画面が表示されます。 は短く押してください。

プリセット内容を削除する（プリセットの削除）

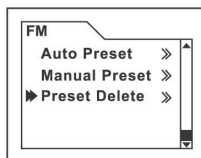
一度プリセットした放送局（周波数）を削除できます。一度削除したプリセット内容も、自動選局やプリセット登録により再び使用できます。

1　FM ラジオモードにする

手順は「FM ラジオを聞こう」（P.46）をご覧ください。

2　メニューを表示する

を押してメニュー一覧を表示します。

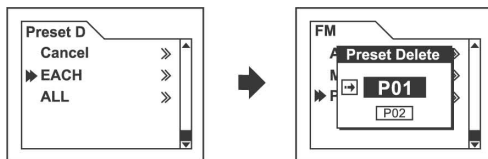
を上下に動かし［Preset Delete］を選びます。

3　プリセットを削除する

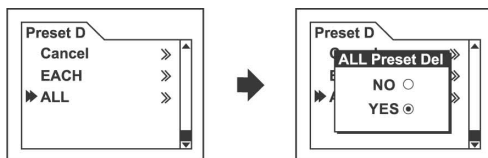
を右に動かして［Preset Delet］メニューを表示します。

を上下に動かし [EACH] または [ALL] を選んで を右に動かします。

キャンセルしたい場合は［Cancel］を選んで を押します。

● ［EACH］の場合

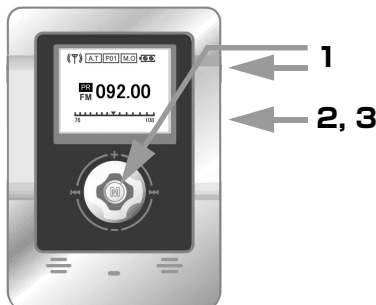
を上下に動かし削除したいプリセットを選びます。を押すと削除します。

● ［ALL］の場合

［YES］を選び を押すとすべてのプリセットを削除します。削除しないときは［NO］を選んで を押します。

を左に動かして元の画面に戻ります。

ワンポイント

を押し続けると、メニュー一覧ではなくモードチェンジ（Mode C.H）画面が表示されます。は短く押してください。

FM ラジオを MP3 録音しよう（FM 録音）

FM ラジオを聞きながら、その放送を本体で MP3 録音できます。

1 FM ラジオを聞く

手順は「FM ラジオを聞こう」（P.46）をご覧ください。

2 録音する

REC ボタンを押したままにすると、録音が始まります（P.41）。▶/|| ボタンを押すと録音を一時停止します。再度 ▶/|| ボタンを押すと録音を再開します。

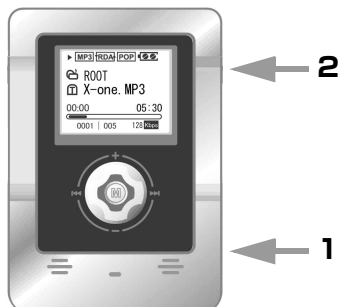
3 録音を停止する

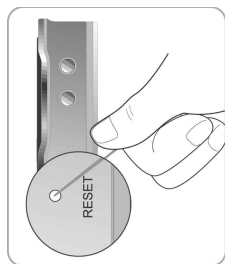
REC ボタンを押すと録音が終わり、元の画面に戻ります。
録音開始から 5 秒以内は停止できません（一時停止は可能です）。

ワンポイント

- 本製品はイヤホンアンテナ方式によって電波を受信します。FM ラジオを聞くときは、必ずヘッドホンを 🎧 ジャックに接続してください。
- 電池の残量が少ないと雑音が発生しやすくなります。充分に充電した状態でお使いください。
- FM ラジオを録音したオーディオファイルは、F001、F002、F003…というファイル名で保存されます。
- FM ラジオを録音するときは、電波状況によって雑音が録音されることがあります。録音中は本体を電波状況のよい場所に置き、移動させないようにしてください。

強制終了する（リセット）

通常の操作ができないなどの不具合が発生した場合は、RESET ボタンを押すと強制的に電源を切れます。

1 リセットする

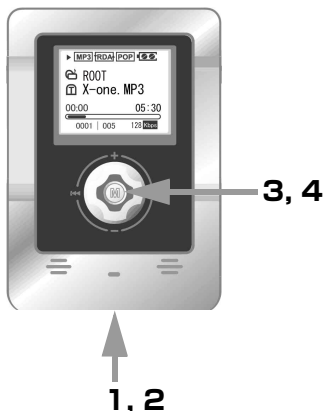
先の細い棒などを使ってRESET ボタンを押します。
電源が切れます。

2 電源を入れる

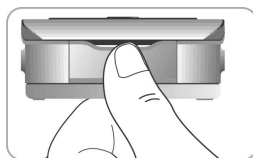
再度電源を入れて正常に動作するか確認してください。
リセット後も動作に不具合がある場合は、シーグランド・ユーザーサポート（P.105）にご相談ください。

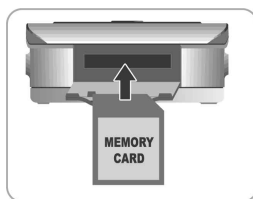
ワンポイント

リセットを実行しても、オーディオファイルなど内蔵 HDD に保存したファイルや各種の設定は消去されません（ボリューム設定を除く）。

メモリーカードを使おう（ダンプ・コピー）

SD CARD IN スロットに SD カード（P.69）を装着して、メモリーカードの内容を内蔵 HDD にコピーできます。オーディオファイルだけでなく、デジタルカメラで撮影した画像データなどもコピーでき、本体をモバイル HDD として活用することも可能です。本体にコピーしたデータは、パソコンと USB 接続してパソコンに転送できます。

1 カバーを開ける

SD CARD IN スロットのカバーを開けます。

2 メモリーカードを装着する

SD カードをしっかりと装着します。

3 メニューを表示する

を押して、メニュー一覧を表示させます。

を上下に動かして［Card Copy］を選びます。

4 データを本体にコピーする

を右に動かします。

を上下に動かして［YES］を選びます。

を押してコピーを開始します。

注意

- Card Copyメニューを実行する際は、本体SD CARD INスロットにSDカードを装着しておく必要があります。
- SD カードに保存されているデータに不具合がある場合、コピーが正しく行われないことがあります。
- 内蔵 HDD の空き容量が少ない時は、データを正常にコピーできない場合があります。
- 曲の再生中に Card Copy メニューを実行すると、再生が停止しコピーが行われます。
- Card Copy メニューによって内蔵 HDD にコピーされたデータは、自動的に作られる CARD フォルダに保存されます。フォルダ名は、CARD01、CARD02…と「CARD」の後に数字の連番が付けられます。
- コピーしようとするファイル名が、すでに内蔵HDDに保存されている別フォルダ内のファイル名と同じだった場合、コピーするファイル名の先頭に、DU1-、DU2-…と自動的に付けてコピーします。
- SD カード内でのフォルダ構造はコピーされず、すべてのファイルがコピー先の CARD** フォルダ（** は、01、02、03…）の直下にコピーされます。
- コピー中に電源が切れると、正常にコピーができないだけでなく、ファイルに不具合が発生する場合があります。なるべく AC 電源をご利用ください。また、AC 電源をご利用頂けない場合には、電池残量を確認し、充分に充電された状態で Card Copy メニューを実行してください。
- Card Copy を始めるとコピーが終わるまでコピーを停止することはできません。

ワンポイント

- メニューの操作方法の詳細は「メニューの使いこなしかた」(P.71)をご覧ください。
- を押し続けると、メニュー一覧ではなくモードチェンジ（Mode C.H）画面が表示されます。は短く押してください。

準備 / 簡単に使う / 再生/録音 / メニュー設定 / 困った時は / 付録 / 索引

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

用語集

ファイル形式

オーディオファイルには、データの形式によっていくつかの種類があり、ファイル形式として分類されます。ここでは、本製品で再生できる WMA/MP3 について説明します。

● WMA（Windows Media Audio）

Microsoft 社が開発した音声圧縮フォーマットです。Windows に標準装備されている Windows Media Player で音楽 CD を WMA ファイルにできます。

● MP3（MPEG Audio Layer-3）

オーディオ CD 並みの音質で、データ量を約 10 分の1に圧縮できる音声圧縮フォーマットです。

ID3 タグ

オーディオファイルに、曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンルなどの情報を加えて、再生時にプレーヤ上に表示するための規格です。ID3 バージョン 2 からは、歌詞などの情報もオーディオファイルに持たせることができます。

本製品では、曲名情報を持っている場合に ID3 タグを認識して表示することができます。

DRM（デジタル著作権管理機能）

デジタルデータの著作権を保護する技術で、音楽配信サイトなどからダウンロード購入した WMA などのオーディオファイルは、DRM 情報が含まれています。

通常、DRM で保護されているオーディオファイルはダウンロードしたパソコンでのみ再生でき、他のパソコンやプレイヤーにコピーや転送をしても再生できません。

しかし、本製品は WMA ファイルの DRM に正規に対応しており、Windows Media Player を使ってファイルを転送した場合に限り、オーディオファイルを再生できます。

ワンポイント

● ただし、DRM 情報に「ポータブルプレーヤーへの転送不可情報」や、「転送可能回数制限」などが含まれているときは、ファイルの転送や再生ができない場合もあります。このように、本製品は必ずしもすべての WMA ファイルの再生を保証するものではありません。

● Windows Media Player 以外の方法（エクスプローラを使ったファイルコピーなど）でファイルを転送すると、再生制限がかかり本製品では再生できません。ファイルの転送には Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player

Windows に標準装備されているマルチメディアコンテンツ再生ソフトウェアで、音声や動画の再生が楽しめます。Microsoft 社が無償で配布しており、最新はバージョン 10 です(2004 年末現在 / ただしバージョン 10 は Windows XP のみで使用可能)。

SD カード

小型メモリーカードの一種で、音楽のオンライン配信に適した著作権保護機能「CPRM」を内蔵しているため携帯音楽機器の記憶装置として利用されています。そのほか、デジタルカメラや携帯電話でも利用できます。誤消去を防ぐプロテクトスイッチも装備されており、16MB ～ 1GB の製品が市販されています。(2004 年末現在)

USB マスストレージクラス

USB ポートにハードディスクなどの外部記憶装置を接続するための規格です。この規格に対応した機器は、パソコンとの間でデータ(ファイル)のアップロード / ダウンロードが可能となるだけでなく、エクスプローラなどのアプリケーションを利用してデータを読み出せます。また、USB マスストレージクラス対応機器を WindowsMe/2000/XP ではじめて使う場合に、パソコンに USB 接続するだけで自動的に認識され、ドライバーソフトウェアがインストールされます(Windows98SE でに接続する場合は、別途ドライバソフトウェアのインストールが必要となります)。

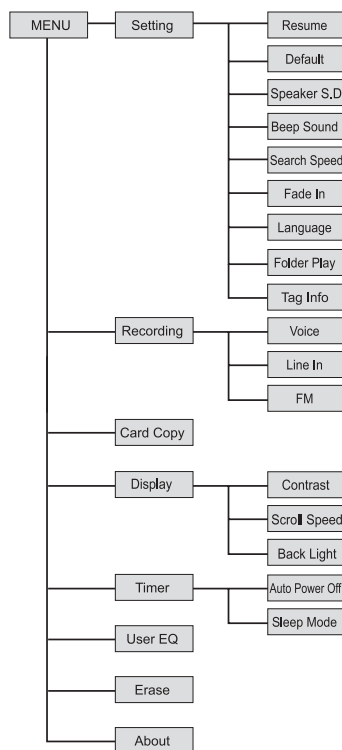
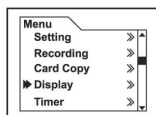
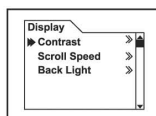
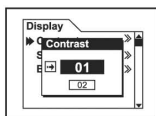
メニューの使いこなしかた

この章では、本製品のさまざまな設定をするメニューの操作方法と各種設定項目を説明します。「簡単にお使いください」（P.33）「いろいろな再生 / 録音の楽しみかた」（P.51）を併せてお読みください。

メニューマップについて

メニューでは再生や録音に関するさまざまな設定ができます。スティックコントローラー（P.16）を使うだけの簡単な操作で、あらゆるの設定が可能です。ここでは、メニューマップについて説明します。

メニューマップ

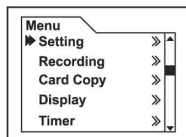
メニューは、以下のメニューマップのような８つのメインメニューがあります。それぞれのメインメニューには、サブメニューとセッティングメニューがあります。

メインメニュー画面

サブメニュー画面

セッティングメニュー画面

メニューの操作方法

メニューは、ナビゲーションボタンを使ってメイン / サブメニューを選択し、セッティングメニューで細かい設定を行います。ここでは、メニューの選びかたを説明します。各メニューの内容については、P.76 以降をご覧ください。

ワンポイント

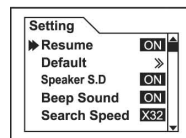
メニューを表示した状態で一定時間操作をしないと、設定は実行されずメイン画面に戻ります。

1 メニュー一覧を表示する

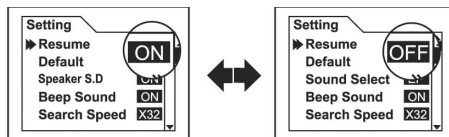
を短く押してメニュー一覧をディスプレイに表示させます。

ワンポイント

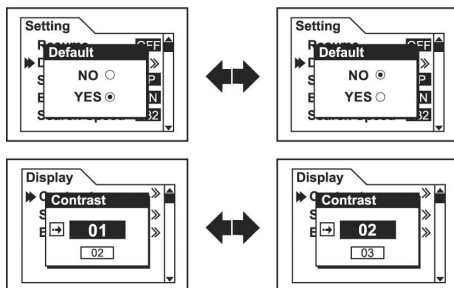
メイン画面に戻りたいときは を左に動かします。

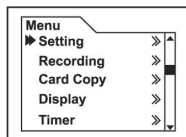
2 メインメニューを選ぶ

を上下に動かして「Setting」「Recording」「Card Copy」「Display」「Timer」「User EQ」「Erase」「About」の中から設定したいメニューを選びます。

を右に動かすと選んだメインメニューのサブメニューまたはセッティングメニューがディスプレイに表示されます。

3 設定する

設定値が表示されている場合は、 を押すと設定が変わります。

設定値が表示されていない場合は、 を右に動かしてセッティングメニューを表示させ、 を上下に動かして設定を切り替えます。

を押すか左に動かすと設定が確定し、元の画面に戻ります。

Setting のサブメニュー

Setting メニューには、以下のようなサブメニューがあります。
スティックコントローラー（P.16）を使ってサブメニューを操作します。

Resume

[ON/OFF]

レジューム機能のオン / オフを設定します。

[ON] を選ぶと、本体の電源をオフにする直前の状態（曲目や再生を停止したポイント、EQ、ボリュームなど）を保存し、再び電源をオンにした時に同じ状態を復元します。

Default

[Yes/No]

[Yes] を選ぶと、すべて設定を初期状態に戻し、その情報を保存します。[No] を選ぶと、ユーザーが設定した情報を保存します。

Speaker S.D

[off/mono/stereo]

ステレオスピーカーの出力方法を設定します。

オンの場合は、ステレオ / モノラル再生の選択ができます。

Beep Sound

[ON/OFF]

ビープ音のオン / オフを設定します。

オンに設定すると、停止状態と再生 / 一時停止状態が切り替わるときやタイマーオフ時（P.81）などにビープ音が鳴ります。

SearchSpeed

[× 4/ × 8/ × 16/ × 32]

早送りや早戻しのスピードを設定します。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

Fade IN

［ON/OFF］

フェードイン再生のオン / オフを設定します。

［ON］を選ぶと、音楽再生時に音量がゼロから設定ボリュームまで次第に大きくなるように再生されます。

Language

［JAP/KOR/CHI/ENG］

ID3 タグ情報（P.68）の表示言語を設定します。

［JAP］：日本語

［KOR］：韓国語

［CHI］：中国語

［ENG］：英語

Folder Play

［F.A/C.F］

再生するフォルダを設定します。

［F.A（Folder All）］を選ぶと、すべてのフォルダ内の音楽ファイルを再生します。

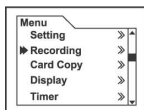
［C.F（Current Folder）］を選ぶと、現在選ばれているフォルダ内の音楽ファイルのみを再生します。

Tag Info

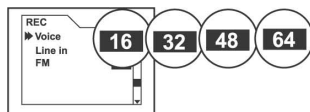
［ON/OFF］

ID3 タグ情報（P.68）の表示 / 非表示を設定します。

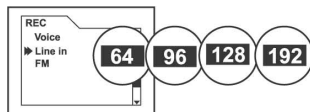
Recording のサブメニュー

Recording メニューには［Voice］、［Line in］、［FM］の 3 つのセッティングメニューがあり、本体で MP3 録音するときのビットレートを設定します。一般に数値が高いほど高音質となりますが、データの量（ファイルサイズ）は大きくなります。

Voice

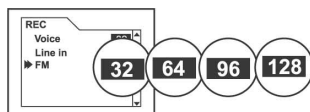
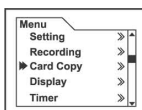
［16/32/48/64（Kbps)］

ボイスレコーディングのビットレートを選択します。

Line in

［64/96/128/192（Kbps)］

ダイレクトレコーディングのビットレートを選択します。

FM

［32/64/96/128（Kbps)］

FM レコーディングのビットレートを選択します。

Card Copy をする

[YES/NO]
[YES] を選ぶと、SD カードに保存されているデータを本体にコピーします。[NO] を選ぶとコピーをキャンセルします。

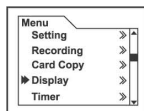
注意

- Card Copyメニューを実行する際は、本体SD CARD INスロットにSDカードを装着しておく必要があります。
- SD カードに保存されているデータに不具合がある場合、コピーが正しく行われないことがあります。
- 内蔵 HDD の空き容量が少ない時は、データを正常にコピーできない場合があります。
- 曲の再生中に Card Copy メニューを実行すると、再生が停止しコピーが行われます。
- Card Copy メニューによって内蔵 HDD にコピーされたデータは、自動的に作られる CARD フォルダに保存されます。フォルダ名は、CARD01、CARD02…と「CARD」の後に数字の連番が付けられます。
- コピーしようとするファイル名が、すでに内蔵HDDに保存されている別フォルダ内のファイル名と同じだった場合、コピーするファイル名の先頭に、DU1-、DU2-…と自動的に付けてコピーします。
- SD カード内でのフォルダ構造はコピーされず、すべてのファイルがコピー先の CARD** フォルダ（** は、01、02、03…）の直下にコピーされます。
- コピー中に電源が切れると、正常にコピーができないだけでなく、ファイルに不具合が発生する場合があります。なるべく AC 電源をご利用ください。また、AC 電源をご利用頂けない場合には、電池残量を確認し、充分に充電された状態で Card Copy メニューを実行してください。
- Card Copy を始めるとコピーが終わるまでコピーを停止することはできません。

ワンポイント

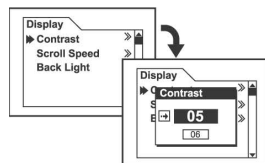
- メニューの操作方法の詳細は「メニューの使いこなしかた」(P.71) をご覧ください。
- を押し続けると、メニュー一覧ではなくモードチェンジ（Mode C.H）画面が表示されます。は短く押してください。

Display のサブメニュー

ディスプレイ表示に関する設定をします。

Contrast

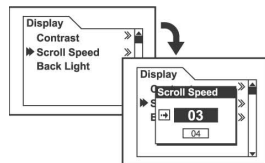
[1 ～ 10]

ディスプレイ表示のコントラストを設定します。

お買い上げ時は［5］に設定されています。

Scroll Speed

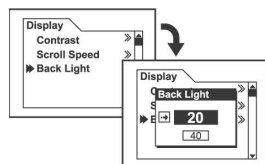
[1 ～ 5]

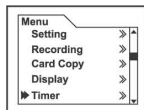
ファイル名や ID3 タグ情報表示のスクロールスピードを設定します。

お買い上げ時は［4］に設定されています。

Backlight

[DIS/5/10/15/20/30sec]

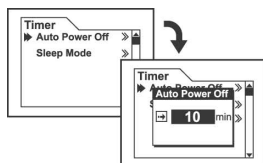
操作したときにディスプレイのバックライトが点灯する時間を設定します。点灯させたくないときは［DIS（Disable)］を選びます。

バックライトの点灯時間が長いと電池が早く消費されます。

Timer のサブメニュー

タイマーに関する設定をします。

AutoPowerOff

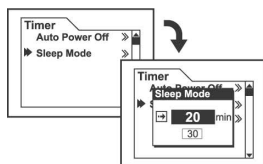
[DIS/30sec/1min/2min/5min/10min]

停止 / 一時停止状態で、何も操作されなかったときに自動的に電源を切る時間間隔を設定します。

電源を切りたくないときは［DIS（Disable）］を選びます。

SleepMode

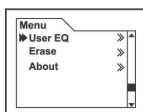
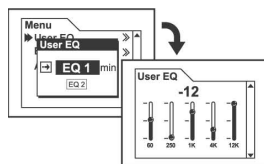
[DIS/10min/20min/30min/60min]

再生 / 停止 / 一時停止状態で、自動的に電源を切る時間間隔を設定します。

電源を切りたくないときは［DIS（Disable）］を選びます。

ワンポイント

SleepMode では、再生中でも設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。

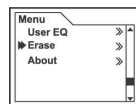
準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

User EQ を設定する

[EQ1/EQ2/EQ3]
ユーザー EQ を設定します。

ワンポイント

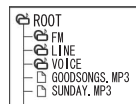
ユーザー EQ の設定方法は「オリジナルの音質を設定しよう（ユーザー EQ)」(P.56) をご覧ください。

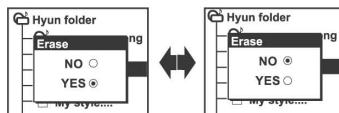
Erase（内蔵 HDD のファイルを削除する）

1 メインメニューから［Erase］を選ぶ

「メニューの操作方法」（P.74）に従ってメインメニューを表示させ、を上下させて［Erase］を選びます。

を右に動かしてディスプレイにフォルダーサーチ画面を表示させます。

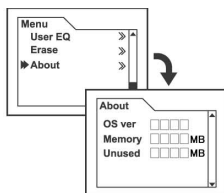
2 削除するファイルを選ぶ

を動かして削除したいファイルを選びます。ファイルを選んだら を押し、セッティングメニューを表示させます。を上下に動かして［Yes（削除）］または［No（削除しない）］を選びます。

3 ファイルを削除する

［Yes］を選んで を押すとファイルを削除します。

削除しないときは［No］を選び、を押します。

注意

- 一度削除したオーディオファイルは元に戻せません。オーディオファイルを削除するときは、充分注意してください。
- 重要なオーディオファイルを誤って削除しないように、パソコンへ定期的にバックアップをしてください。
- お客様または第三者が、本製品またはパソコンや各アプリケーションの誤使用、使用中に生じた故障、メモリーの消失、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あしからずご了承ください。
- ファイルの削除は、再生状態では行えません。必ず停止 / 一時停止してから、ファイルを削除してください。

About（本体の情報を表示する）

[OS Ver]：ファームウェア（システムプログラム）のバージョンを表示します。
[Memory] ：内蔵 HDD の容量を表示します。
[Unused]：空き容量を表示します。

ワンポイント

- 本製品はファームウェアのアップデートが可能です。ファームウェアのアップデート情報およびアップデート方法は、弊社ホームページ（P.105）にて公開いたします。
- 内蔵 HDD の一部をファームウェアが使用するため、[Memory] は、ご利用の製品に搭載されている HDD 容量よりも少なく表示されます。また、Windows での表示とは容量が異なります。

使用上のヒントと
トラブルシューティング

この章では、本製品を使いこなすためのヒントと、陥りやすいトラブルとその原因、対処方法について説明しています。サポートセンターにお問い合わせいただく前に、一度トラブルシューティングの内容をご確認ください。

使用上のヒント

曲順を並べ替えたい

本体に転送したオーディオファイルはフォルダ単位で管理され、[フォルダ]→[ファイル]の順でそれぞれ名前順(半角数字→半角アルファベット→全角数字→全角アルファベット→全角日本語 / 五十音)に並べられます。これが本体で曲を再生するときの曲順となります。

音楽 CD をパソコンに WMA 形式で録音し、それを本体に転送するときは、ファイル名の先頭に数字(01**、02**、03**、…など)をつけると音楽 CD と同じ曲順を設定できます。

さらに音楽 CD を希望の順番で再生したいときは、音楽 CD ごとにフォルダを作成し、フォルダ名の先頭に数字(01**、02**、03**、…など)をつけると音楽 CD の再生順を設定できます。

録音した内容を保存したい

本体をパソコンと USB 接続し(P.30)、エクスプローラーなどで本体を開くと、本体内蔵 HDD に保存されているオーディオファイルを見ることができます。この中から保存しておきたいファイルをマウスで選び、ドラッグ&ドロップでパソコンにコピーできます。コピーしたオーディオファイルは、Windows Media Player で再生できます。

ポケットなどに入れていると勝手にボタンが押されてしまう

ホールド機能を使うと、気付かないうちにボタンが押されるといった誤動作を防げます(P.48)。

録音した曲ごとにファイルを分割したい

本体で録音すると停止したところまでがひとつのオーディオファイルとして保存されます。曲ごとにファイルを分割したいときは、録音 / 停止の作業を繰り返してください。

ボイス / ダイレクト /FM レコーディングの録音待機状態をキャンセルしたい

ボイス / ダイレクト /FM 録音待機状態で EQ ボタンを押すと、録音待機状態をキャンセルして元の画面に戻れます。

録音したオーディオファイルをすぐに確認したい

本製品は、どのフォルダ / ファイルが選ばれている状態でも、録音直後には、録音したオーディオファイルが再生対象として選択された状態になります。ステレオスピーカーも内蔵しているので、すぐに録音結果をチェックできます（FMレコーディングを除く）。

FM ラジオを録音した場合は、録音直後は FM ラジオの受信状態となりますので、モードを［Music］に変更してください。すると、録音したオーディオファイルが再生対象として選択された状態になります。

FM ラジオでよく聞く放送局だけをプリセット登録したい

プリセットは［P01］～［P20］までの 20 個ありますが、プリセットの内容を削除（P.62）をすると、プリセット選局モードで選択できなくなります。この機能を利用して以下のように設定すると便利です。

1：自動選局をして受信可能な放送局（周波数）を自動的にプリセットに登録する。

2：不要なプリセット内容を削除する。

以上の操作で、よく聞く放送局だけをプリセット選局モードで素早く選べるようになります。

詳細は「自動選局のしかた」（P.46）と「プリセット内容を削除する（プリセットの削除）」（P.62）をご覧ください。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

トラブルシューティング（Music モード）

WMA ファイルが再生できない

Windows Media Player の［デバイスへの転送］を使わずに、Windows のエクスプローラなどでファイルを本体にコピーすると、以下の場合はオーディオファイルを再生できません。

1：ダウンロード購入した DRM 情報が有効なオーディオファイルの場合

2：CD からパソコンに録音したときに著作権保護機能が働いたとき

2 の場合は、［ツール］－［オプション］の［音楽の録音］タブで［保護された音楽を録音する］チェックボックスをオフにして音楽 CD から録音することで、再生が可能となります。

しかし、いずれの場合もファイルの転送は Windows Media Player をお使いください。

また、ビットレートが 32 ～ 160kbps の範囲を超えた WMA ファイルは再生できません。

MP3 ファイルが再生できない

本製品は、DRM 情報が有効な MP3 ファイル、または、ビットレートが 16 ～ 320kbps の範囲を超えた MP3 ファイルは再生できません。

WAVE ファイルが再生できない

本製品は WAVE ファイルの再生に対応していません。パソコンで WMA または MP3 ファイルに変換した後に本体に転送してください。

スティックコントローラーやボタン操作ができない

HOLD スイッチがオンになってないかご確認ください（P.48）。

それでも操作できない場合は、RESET ボタンを押して強制終了（リセット）しください（P.65）。リセットを実行しても、オーディオファイルなど内蔵 HDD に保存したファイルや各種の設定は消去されません（ボリューム設定を除く）。

ファイル名を変更したのに再生すると元のファイル名が表示される

オーディオファイルの中には、ファイル名とは別に曲名情報（ID3 タグ）を持ったものがあります。このようなファイルの場合、ファイル名はパソコンなどで書き換えられますが、曲名情報は書き換えられません。

曲名情報を持ったファイルを選択したとき、ディスプレイには、停止状態ではファイル名が、再生 / 一時停止状態では ID3 タグの曲名情報が表示されます。

ファイル名がスライド表示されないファイルがある

ファイル名が半角英数字で 11 文字以上（拡張子を含め 15 文字以上）の場合はファイル名がスライド表示されます。10 文字以下（拡張子を含め 14 文字以下）の場合は、スライド表示されません。

再生ボタンを押してから曲が再生されるまでに時間が長くかかる

本製品は、電池の消費を少なくするために電源がオンの状態で一定時間に何も操作されないと、内蔵 HDD が自動停止（スリープモード）するように設計されています。スリープモードの状態から再び再生ボタンを押すと、曲が再生されるまでに時間がかかる場合があります。

パソコンに USB 接続しても認識されず充電もできない

ディスプレイに［Low Battery］と表示された状態では、パソコンに USB 接続しても本体は認識されません。またこの状態では USB 接続による充電もされませんので、付属 AC アダプターを使って本体を充電してください。

パソコンにインストールしたはずのプログラムがみつからない

付属のソフトウェアは、Windows Media Player を使って本体にオーディオファイルを転送するために必要なプラグインソフトウェアです。そのため、このプラグインは Windows の［スタート］－［プログラム］等には特に表示されませんが、これをインストールしないと Windows Media Player から転送できません。

パソコンに正常にインストールされていると、［スタート］－［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］で、「現在インストールされているプログラム」一覧の中に『X-One HDD PlugIn』がリストアップされます（Windows XP の場合）。

▶/Ⅱ ボタンを押しても再生が停止状態にならない（一時停止状態になる）

再生中に ▶/Ⅱ ボタンを押すと一時停止状態となり、停止状態にはなりません（常に一時停止状態となります）。再度 ▶/Ⅱ ボタンを押すとその部分から再生を始めます。

本体を停止状態（■）にするには、一時停止状態で次の曲または前の曲を選択します（P.49）。また、電源を入れた直後では、停止状態となります。

トラブルシューティング（FM ラジオモード）

ラジオがきれいに聞こえない

本体に搭載されている FM チューナーはイヤホンアンテナ方式のため、ヘッドホンを接続していないときれいに受信できません。FM ラジオを聞いたり録音するときは、必ずヘッドホンを接続してください。

ラジオに雑音が多く混ざる

電池の残量が少ないとノイズが発生しやすくなります。充分に残量のある電池をお使いください。

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

トラブルシューティング（その他一般事項）

電源が入らない

以下の点をご確認ください

- 電池の残量が充分か（P.34）
- HOLD スイッチがオンになってないか（P.48）

オーディオファイル /FM ラジオの音が鳴らない

以下の点をご確認ください。

- ヘッドホンが正しく接続されているか（P.17）
- ボリュームが最小になっていないか（P.42）
- 再生しようとしているオーディオファイルがパソコンでも再生できるか

  （パソコンでも再生できない場合はファイルが無音または壊れている可能性があります。）

ファイルの転送ができない

以下の点をご確認ください。

- ファイル名が長くないか

  （長いファイル名を持つファイルは、ファイルサイズ以上にメモリを消費します。一度短いファイル名に変えてから転送してみてください。）
- 内蔵 HDD の空き容量が充分あるか（P.84）

  （転送可能な空き容量はメニューの［About］で確認できます。）

メニュー操作中に画面が元に戻ってしまう

各メニュー画面は、何も操作せずに一定時間過ぎると元の画面に戻ります。

Windows 2000/XP で付属ソフトウェアがインストールできない / フォーマットができない

Administrator、または Administrator 権限を持つユーザーでログオンしているかご確認ください。

Windows Me でデバイスマネージャに緑色の×マークが表示される

この表示は仕様です。動作に問題ありませんので、そのままお使いください。

付録

ファイルのアップロード / ダウンロード

本製品は、Windows Media Player を利用したオーディオファイルの転送以外にも、Windows のエクスプローラーを使ってファイルのアップロード / ダウンロード（コピー）ができます。この方法を利用すれば、オーディオファイルだけでなく、デジタルカメラで撮影した画像データやテキストファイルなども保存でき、本体をモバイル HDD として活用することも可能です。

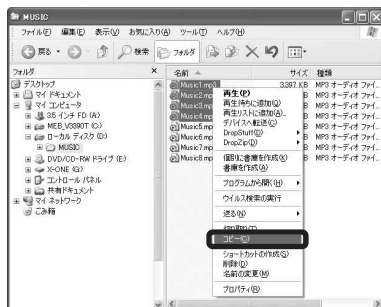
詳細なファイルのアップロード / ダウンロードの方法については、ご利用されているパソコン、OS の取扱説明書をご覧ください。不明点は、これらの製造元にお問い合わせください。

注意

- Windows のエクスプローラなどでファイルを本体にコピーすると、以下の場合は本体でオーディオファイルを再生できません。
  1：ダウンロード購入した DRM 情報が有効なオーディオファイルの場合
  2：CD からパソコンに録音したときに著作権保護機能が働いたとき
  このような場合は、Windows Media Player の［デバイスへの転送］を利用してファイルをコピーしてください。
- 音楽CDを入れたCD/DVD ドライブからファイルを内蔵HDDに直接コピーしても、本体では再生できません。必ず一度 Windows Media Player を使って CD をパソコンに録音してから、内蔵 HDD にオーディオファイルを転送してください。

1 本体にダウンロードしたいファイルをコピーする

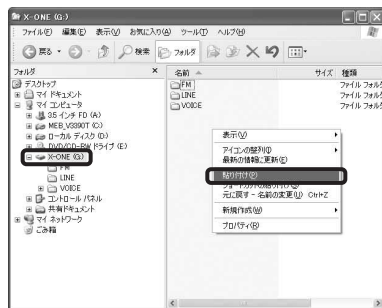
マウスを使ってダウンロードしたいファイルを選びます。

その状態で右クリックをしてメニューを表示させ［コピー］を実行します。

2 本体（X-ONE）に貼り付ける

フォルダの［マイコンピューター］で本体（X-ONE）を選びます。

右クリックをしてメニューを表示させ［貼り付け］を実行します。

コピーしたファイルが表示されたらコピーの完了です。

同様の手法で、本体（X-ONE）からパソコンにファイルをアップロード（コピー）できます。

注意

- 本体に存在するファイルと同じ名前のファイルを転送すると、既存ファイルは上書きされます。
- 本体のパソコンへの接続および取り外しの詳細な手順、注意事項については「パソコンとの接続のしかた」(P.30) と「パソコンからの取り外しかた」(P.32) をご覧ください。
- 転送中は、本体をパソコンから取り外さないでください。
- 本体のドライブ名（図では G:）は、お使いのパソコン環境により自動的に割り当てられるため、必ずしも G ドライブとなるとは限りません。

内蔵 HDD のフォーマット

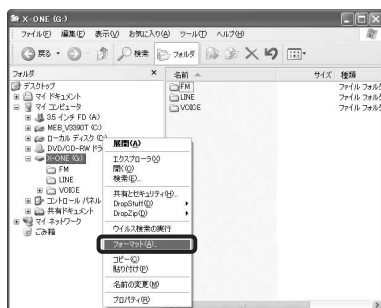
パソコン操作で本体内蔵 HDD をフォーマットできます。

注意

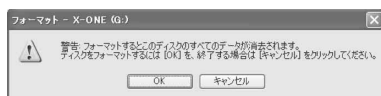
フォーマットを実行すると、内蔵 HDD に保存しているすべてのファイルは消去され、復元できません。また、各種設定も初期設定に戻ります。必要なファイルは必ずバックアップを取ったうえでフォーマットをしてください。

1 ［フォーマット］メニューを選ぶ

Windows エクスプローラを開き、フォルダの［マイコンピューター］で本体（X-ONE）を選びます。

その状態で右クリックをしてメニューを表示し［フォーマット］を選びます。

2 フォーマットを実行する

Fomat ウィンドウが表示されるので、［ファイルシステム］で［FAT32］を選びます。

［スタート］をクリックすると、再度フォーマットを実行してよいかの警告ダイアログボックスが表示されるので、本当によければ［OK］を、フォーマットを中止する場合は［キャンセル］をクリックします。

フォーマットが完了したら、作業終了を示すダイアログボックスが表示されるので［OK］をクリックします。

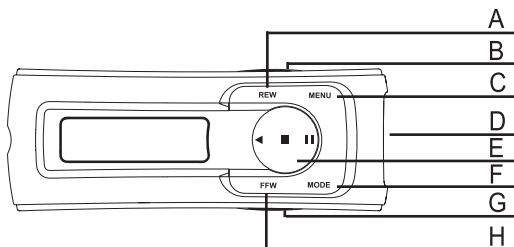
以上で、内蔵 HDD のフォーマットは終了です。

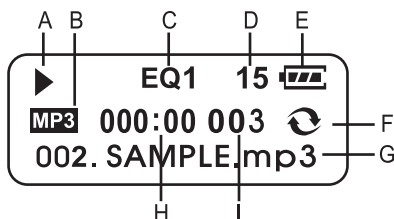
注意

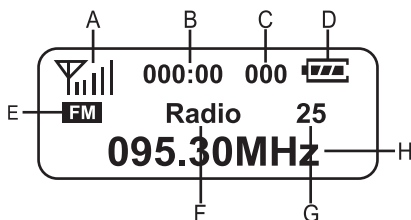
- 本体のパソコンへの接続および取り外しの詳細な手順、注意事項については「パソコンとの接続のしかた」（P.30）と「パソコンからの取り外しかた」（P.32）をご覧ください。
- フォーマット中は、本体をパソコンから取り外さないでください。
- 本体のドライブ名（図では G:）は、お使いのパソコン環境により自動的に割り当てられるため、必ずしも G ドライブとなるとは限りません。

リモコンの使い方（RMOPT-600LC/ オプション）

オプションの専用液晶リモコンについて説明します。機能や操作手順の詳細は、本体の該当ページの説明をご覧ください。

リモコンの各部名称

A：⏮（REW）ボタン
B：REC ボタン
C：MENU ボタン
D：🎧 ジャック
E：▶/‖ ボタン
F：MODE ボタン
G：VOL ＋ / －ボタン
H：⏭（FFW）ボタン

ディスプレイ表示 /Music モード

A：再生 / 停止 / 一時停止表示
B：ファイル形式表示
C：EQ 表示
D：ボリューム表示
E：電池レベル表示
F：プレイモード（リピート）表示
G：ファイル名表示
H：タイム・カウンター表示
I：曲番号表示

ディスプレイ表示 /FM ラジオモード

A：FM ラジオ受信表示
B：FM 録音タイム・カウンター表示
C：プリセット番号表示
D：電池レベル表示
E：FM ラジオモード表示
F：自動 / 手動選局表示
G：ボリューム表示
H：受信周波数表示

準備
簡単に使う
再生／録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

リモコン・オペレーション・ガイド（RMOPT-600LC/ オプション）

オプションの専用液晶リモコンのボタン操作をまとめた一覧です。モードやボタン操作の時間（タイム）で、操作内容が変わります。

Music モード（音楽再生時）

ボタン	タイム	停止状態	再生状態
▶ ‖		再生	停止
		電源オフ	電源オフ
FF		次の曲を選択	次の曲を頭出し再生
		連続で次の曲を選択	早送り再生
REW		前の曲を選択	再生開始から5秒以内： 前の曲を頭出し再生 再生開始から5秒以上： 現在の曲を頭出し再生
		連続で前の曲を選択	早戻し再生
MENU		メニュー選択	メニュー選択
		メニュー選択	メニュー選択
REC			EQ選択
		ナビゲーションモード	ナビゲーションモード
MODE		---	A→Bリピート設定
		録音待機状態	プレイモードの選択
VOL＋		ボリューム↑（1レベル）	ボリューム↑（1レベル）
		ボリューム↑↑（連続）	ボリューム↑↑（連続）
VOL－		ボリューム↓（1レベル）	ボリューム↓（1レベル）
		ボリューム↓↓（連続）	ボリューム↓↓（連続）

Voice/Line モード（録音時）

ボタン	タイム	停止状態	再生状態
REC		録音開始	録音停止
MENU		メニュー選択	―――
		モード選択	―――

FM モード（FM ラジオ受信時）

ボタン	タイム	受信待機状態	プリセット選局モード
▶Ⅱ		受信開始	停止
		電源オフ	電源オフ
FF		受信周波数↑(0.05Hz)	次のプリセットを選局
		受信周波数↑↑(連続)	連続して次のプリセットを選局
REW		受信周波数↓(0.05Hz)	次のプリセットを選局
		受信周波数↓↓(連続)	連続して次のプリセットを選局
MENU		FMメニュー選択	FMメニュー選択
		モード選択	モード選択
REC		FM録音開始/停止	FM録音開始/停止
MODE		プリセット選局モード	プリセット選局モード
VOL＋/－		ボリューム↓↑(1レベル)	ボリューム↓↑(1レベル)
		ボリューム↓↑(連続)	ボリューム↓↑(連続)

準備
簡単に使う
再生/録音
メニュー設定
困った時は
付録
索引

主な仕様

種類	項目	仕様
音声再生	再生ファイル形式	MP3、WMA（注1,2）
	再生周波数	20Hz～20,000Hz
FMチューナー	受信周波数	76.0MHz～108MHz
	アンテナ	ヘッドホン/イヤホンアンテナ
S/N比	FMチューナー	50dB
	オーディオ再生	90dB
音声録音	録音ファイル形式	MP3
	最大録音時間	MP3：約1,000時間（1GB）
HDD容量		4GB
その他	電源	4.2Vリチウムポリマー充電池
	連続使用時間	約10時間（注3）
	PC接続インターフェイス	USB2.0（Type A）480Mbps（注4）
	入力デバイス	3.5mmステレオミニジャック/内蔵マイク
	出力デバイス	3.5mmステレオミニジャック/内蔵ステレオスピーカー
	液晶画面（LCD）	バックライト付きLCD/日本語表示対応
	付属ソフトウェア	Windows Media Player用Plug-In Windows98SE用ドライバーソフトウェア
	本体寸法	80（W）×56（L）×22.4（H）mm
	重量	約70g（電池を含む）

注1：MP3（16kbps ～ 320kbps）、WMA（32kbps ～ 160kbps）、可変ビットレート（VBR）でエンコードされた物もこの範囲を逸脱した場合には再生が正常ではなくなる場合があります。

注2：WMA 形式の DRM（デジタル著作権管理）に対応していますが、ダウンロード購入された楽曲については、全ての楽曲の転送・再生を保証する物ではありません。

注3：本体内蔵リチウムポリマー電池を充分に充電した状態で、ボリューム設定 10 で MP3（128kbps）ファイルを連続再生した場合。電池の消耗状況および利用環境により使用時間は変動します。

注4：USB2.0 HI-SPEED 対応。USB1.1 ポートに接続した場合には、Full Speed モードでの接続となります。

パソコンの最低動作環境

項目	仕様
対応OS	Microsoft Windows 98SE /Me/2000/XP(注5)
CPU	Pentium 200MHz以上
メモリ	32MB以上(64MB以上推奨)
ハードディスク	128MB以上の空き容量(注6)
必要機器	CD-ROMドライブ
	USBポート(2.0/1.1)
その他	インターネットに接続できる環境
	Internet Explorer 4.01SP2以降
	Windows Media Player7.0以降

注5：いずれのOSも日本語版でアップグレードインストールでない環境が必須です。上書きインストールした環境、OSが正常に動作していない環境は保証対象外です。Windows 2000の場合は、サービスパック(SP2以降)がインストールされていることが必要です。

注6：別途オーディオファイルを取り込むためには、さらに大きな空き容量が必要です。

ハードウェア保証規定

本取扱説明書の注意書きおよび付属の説明書に従った使用状況で、本製品が保証期間内に故障した場合、下記の保証規定の範囲内で無料修理をさせていただきます。

以下は、ハードウェアに関する保証規定を記載しております。ご使用前に、必ずお読みください。

注意

- この保証は本製品のハードウェアに関するものであり、何らかのネットワークサービスの利用を保証するものではありません。
- プログラム、データの使用、あるいは誤使用による損害または損失についての責任は負いません。

ハードウエア保証規定

1. 本保証は、本保証規定により、お買い上げより 1 年間のハードウェア無償交換もしくは修理をお約束するものです。データの消失等については、一切保証いたしかねますので、ご了承ください。
   無償交換時に保証書が必要となりますので、大切に保管願います。
2. 製品が取扱説明書記載の通常の使用方法により正常に動作しなくなった場合は、弊社の判断で無償で修理もしくは同等品と交換いたします。交換の場合は、送付された旧製品等はお返しいたしません。また、修理もしくは交換に際し、メモリの内容については保証致しかねます。
3. 但し、次のような場合には、保証期間内でも無償での交換・修理は致しかねます。
   A) 弊社製品と判断出来ない場合
   B) 製品を弊社正規販売店以外より購入された場合。
   C) ハードウェア自身の消耗に起因する故障または損傷
   （本製品は製品の性質上、書き込み可能回数など製品寿命がございます。）
   D) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷
   E) お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取り扱いが不適当なため生じた故障または損傷
   F) ご使用時の不備あるいは接続している他の機器によって生じた故障または損傷
   G) 取扱説明書の記載内容に反するお取り扱いによって生じた故障または損傷
   H) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合
   I) その他交換が認めがたい行為が発見された場合
4. お買い上げ後 1 年間を経過したもの、および上記「3」の項目に該当するものは有償修理となります。また、その場合に弊社が修理不可能と判断した場合は、修理をお受けせずに送付された製品をご返却する場合があります。
5. 本製品を運用した結果の他への影響については一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

保証期間経過後の修理について

この保証規定は、規定内で明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

アフターサービスについて

本製品が正常動作しなくなった場合は、現象、環境等の詳細をお書きの上、無償修理対象になる場合は、保証書等とともに本製品を弊社サポートセンターまでお送りください。直接弊社にお持込になられても対応できかねますので、必ず修理品はお送りいただく様お願いいたします。

送付される際は、輸送時の破損を防ぐため厳重に梱包し、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包にてお送りください。

送料については、発送時の費用はお客様負担、返送時の費用は、無償修理および交換の場合は弊社負担、有償修理の場合はお客様負担とさせていただきます。製品到着後、修理もしくは交換品の手配が揃いしだい、ご返送させていただきます。

送付していただくもの

- 本製品
- 保証書（保証書に購入店、購入日の記載がない場合には、お買い上げ時の領収書等の購入日が証明できるものをあわせて送付ください。コピーでも可能です。）

送付先住所

〒 101-0038
東京都千代田区神田美倉町 3 コスモビル 6F
シーグランド株式会社　X-One サポートセンター
TEL 03-3526-5416

本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

ユーザー登録のご案内

シーグランドは、ユーザー登録されたお客様に対して、サポートやバージョンアップのご案内など、各種サービスを実施させていただきます。同梱されている「ユーザー登録はがき」に必要事項を記入の上、ご登録手続きをしてください。なお、弊社ホームページからもユーザー登録ができます。

http://www.seagrand.co.jp/regist/index.shtml

サポートセンターのご案内

本製品の操作上の疑問や不明点もしくは動作の不具合などは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターにお問い合わせいただく前には、まず本取扱説明書をよく読み、特に「使用上のヒントと トラブルシューティング」(P.85)をご参照ください。

インターネットをご利用できる方は、弊社ホームページで製品発売後に発見された不具合やその対策などの最新情報を公開しております。サポートセンターにお問い合わせいただく前に、一度弊社ホームページをご覧ください。

シーグランド株式会社 サポートセンター

電話：03-3526-5416
FAX：03-3526-9564
E-MAIL：support@seagrand.co.jp
ホームページ：http://www.seagrand.co.jp/support/index.shtml
電話対応時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00 まで

- E-MAIL や FAX でのお問い合わせの際には、ご連絡先や質問事項、ご利用機器の構成(OS やパソコンの機種名、メモリ、空き容量など）をできるだけ詳しくご記載ください。
- トラブルの状況によっては、調査のためお時間を頂戴することがあります。あらかじめご了承ください。
- Windows の使い方やパソコン固有の問題に関しては、各製品のユーザーサポートへお問い合わせください。
- 弊社で動作保証している機器以外の組み合わせで、ご利用になられた場合の不具合に関しては、弊社ではサポート致しかねます。
- お問い合わせいただいた順に回答させていただきますが、内容により前後する場合がございます。
- 調査にお時間をいただくような内容の場合などには、1 週間程度のお時間をいただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

英数字

About.......84
AC アダプター.......24
AutoPowerOff.......81
A → B リピート再生.......52
Backlight.......80
Beep Sound.......76
Carging.......24
CD から録音.......36
Complete.......24
CONNECT.......38
Contrast.......80
DC IN ジャック.......18
Default.......76
DRM（デジタル著作権管理機能）.......68
EQ スライダー.......56
EQ ボタン.......18
Erase.......83
Fade IN.......77
FM.......45
FM ラジオモード.......46
FM 録音.......64
Folder Play.......77
HOLD スイッチ.......18, 48
ID3 タグ.......68
INPUT ジャック.......17
Language.......77
Line.......45
Loading.......34
Low Battery.......24
Memory.......84
MIC.......16
MODE C.H.......45
MP3.......68
Music.......45
OS Ver.......84
REC ボタン.......18
RESET ボタン.......18
Resume.......76
Scroll Spead.......80
SD CARD IN スロット.......17
SD カード.......69
SearchSpeed.......76
SleepMode.......81
Speaker S.D.......76
Tag Info.......77
Unused.......84
USB ジャック.......17
USB 接続.......30
USB マスストレージクラス.......69
Voice.......45
Windows Media Player.......69
WMA.......68

あ

アップロード.......92

い

一時停止.......89
イヤホンアンテナ方式.......89
インストール.......26, 27

お

オーディオファイル.......68
オペレーション・ガイド.......49
音楽の録音.......36
音量を調整.......42

き

強制終了.......65
曲順.......86
曲番号 / 曲数表示.......21

こ
コントラスト....................................80
コントローラーやボタン操作...........19

さ
再生..42
再生中の曲の頭出し再生 43
サブメニュー....................................73

し
自動選局 46
充電..24
手動選局 47

す
スキャニング....................................47
スクロールスピード.........................80
スティックコントローラー 16
ステレオスピーカー..........................16
スライド表示....................................88

せ
セッティングメニュー 73
専用プラグインソフトウェア...........26

た
タイマー 81
タイム・カウンター..........................21
ダイレクトレコーディング 40
ダウンロード....................................92
ダンプ・コピー.................................66

つ
次の曲の頭出し再生..........................43

て
停止状態 89
ディスプレイ 16
デバイスへ転送 38
電源駆動表示 24
電池レベル表示 34

と
ドライバソフトウェア......................27

な
ナビゲーションモード......................44

の
ノーマル 53

は
ハードウェアデバイスの停止...........32
ハードウェアの安全な取り外し 32
バックライト 80
早送り再生 43
早戻し再生 43

ひ
ビープ音 76
ビットレート 58

ふ

ファームウェア....84
ファイル形式....68
ファイル名....21
ファイルを探す....44
ファイルを削除....83
ファイルを選択....44
フェードイン再生....77
フォーマット....94
プリセットEQ....54
プリセット選局モード....47
プリセット登録....60
プリセットの削除....62
プレイモード....53

ほ

ボイスレコーディング....40
ホールド機能....48

ま

マイコンピューター....31
前の曲の頭出し再生....43

め

メインメニュー....73
メニューマップ....72

も

モード....45
モードチェンジ....45
モバイルHDD....66, 92

ゆ

ユーザーEQ....56

ら

ランダム....53
ランダムオール....53

り

リセット....65
リピート....53
リピートオール....53

れ

レジューム機能....76

記号

....16
▶/‖ ボタン....18
ジャック....17